

BEST AVAILABLE COPY 09/878, 305 / sug
日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日
Date of Application:

2001年 5月23日

出 願 番 号
Application Number:

特願2001-153866

出 願 人
Applicant(s):

キヤノン株式会社

RECEIVED

SEP 27 2001

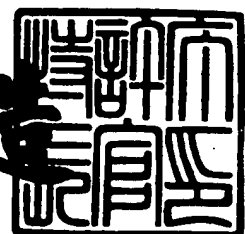
Technology Center 2600

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2001年 6月26日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Japan Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3060225

【書類名】 特許願

【整理番号】 4479021

【提出日】 平成13年 5月23日

【あて先】 特許庁長官 及川 耕造 殿

【国際特許分類】 H04N 7/00

【発明の名称】 掲示板機能を有する画像処理装置およびその制御方法およびプログラム並びに記憶媒体

【請求項の数】 42

【発明者】

【住所又は居所】 東京都大田区下丸子3丁目30番2号キャノン株式会社
内

【氏名】 金澤 俊也

【特許出願人】

【識別番号】 000001007

【住所又は居所】 東京都大田区下丸子3丁目30番2号

【氏名又は名称】 キャノン株式会社

【代表者】 御手洗 富士夫

【電話番号】 03-3758-2111

【代理人】

【識別番号】 100090538

【住所又は居所】 東京都大田区下丸子3丁目30番2号キャノン株式会社
内

【弁理士】

【氏名又は名称】 西山 恵三

【電話番号】 03-3758-2111

【選任した代理人】

【識別番号】 100096965

【住所又は居所】 東京都大田区下丸子3丁目30番2号キャノン株式会
社内

【弁理士】

【氏名又は名称】 内尾 裕一

【電話番号】 03-3758-2111

【先の出願に基づく優先権主張】

【出願番号】 特願2000-176736

【出願日】 平成12年 6月13日

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 011224

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9908388

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 掲示板機能を有する画像処理装置およびその制御方法およびプログラム並びに記憶媒体

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 外部装置からアクセス可能である Web サーバ部を有した画像処理装置において、

異なる表示領域を有した前記印刷装置の表示手段と、

前記画像処理装置の外部に接続された第 1 の Web クライアントの外部装置に前記表示手段に表示されるメッセージを入力するためのクライアント表示画面情報を送信する送信手段と、

前記クライアント表示画面情報に基づき表示されるクライアント表示画面を介して第 1 の Web クライアントにより入力されたメッセージに基づく第 1 のメッセージ情報を受信する受信手段とを有し、

前記表示手段は前記受信した第 1 のメッセージ情報に基づき前記異なる表示領域の何れかにメッセージの表示を行うことを特徴とする画像処理装置。

【請求項 2】 前記第 1 のメッセージ情報には前記異なる表示領域の何れかに表示されるよう制御される表示領域情報が含まれ、

前記表示領域情報は前記クライアント表示画面での異なる入力部に基づいた情報であることを特徴とする請求項 1 に記載の画像処理装置。

【請求項 3】 前記表示手段は前記第 1 のメッセージ情報を異なるタイミングで表示することを特徴とする請求項 1 に記載された画像処理装置。

【請求項 4】 前記表示手段は前記異なる領域ごとに前記第 1 のメッセージ情報を異なるタイミングで表示することを特徴とする請求項 3 に記載された画像処理装置。

【請求項 5】 前記第 1 のメッセージ情報には前記表示手段によって表示されるメッセージが消去可能か否かの消去情報が含まれることを特徴とする請求項 1 に記載の画像処理装置。

【請求項 6】 前記メッセージが消去可能か否かの消去情報のうち消去可能の情報には前記表示手段に表示される消去ボタンの消去ボタン情報が含まれるこ

とを特徴とする請求項 5 に記載された画像処理装置。

【請求項 7】 前記異なる表示領域は前記画像処理装置の状態を表示するステータス表示領域である第 1 の表示領域と、前記画像処理装置の操作画面を表示する操作画面表示領域である第 2 の表示領域を含むことを特徴とする請求項 1 に記載された画像処理装置。

【請求項 8】 前記表示手段は前記操作画面を介して入力される操作を受け付ける機能を有することを特徴とする請求項 1 に記載された画像処理装置。

【請求項 9】 前記第 2 の表示領域に前記メッセージを表示する場合に、前記操作画面を介して入力される操作を受け付ける機能を行わないことを特徴とする請求項 1 から請求項 8 の何れかに記載された画像処理装置。

【請求項 1 0】 前記表示手段は前記第 1 の表示領域における前記画像処理装置のステータス情報の表示を前記第 1 の表示領域での前記メッセージの表示に優先させて表示を行い、前記ステータス情報の表示が表示されない際に前記メッセージを表示することを特徴とする請求項 1 から請求項 7 の何れかに記載された画像処理装置。

【請求項 1 1】 前記表示手段は前記第 1 の表示領域、および／または、前記第 2 の表示領域での前記メッセージの表示を前記操作画面を介する操作が所定時間行われなかった際に行うことを特徴とする請求項 1 から請求項 7 の何れかに記載された画像処理装置。

【請求項 1 2】 前記操作画面を介する操作が所定時間行われなかった際のタイミングは前記画像処理装置の表示手段に表示される表示画面がリセットされるオートクリアであることを特徴とする請求項 1 から請求項 1 1 の何れかに記載された画像処理装置。

【請求項 1 3】 前記送信手段は前記受信手段により受信した第 1 のメッセージ情報に基づく第 2 のメッセージ情報を前記画像処理装置の外部に接続された第 2 の Web クライアントの外部装置に送信し、

前記第 2 の Web クライアントの外部装置に送信された情報は前記第 2 の Web クライアントの外部装置の画面に表示される画面情報であることを特徴とする請求項 1 に記載された画像処理装置。

【請求項 1 4】 前記クライアント表示画面情報には、前記表示手段に表示される第 1 のメッセージ情報に基づく前記第 2 のメッセージ情報を、前記第 2 の W e b クライアントの外部装置の画面に表示させるか否かの表示／非表示の設定機能が含まれており、前記表示／非表示の設定に応じて前記第 2 の W e b クライアントの外部装置の画面への前記第 2 のメッセージ情報の表示の有無を制御する手段を有することを特徴とする請求項 1 3 に記載された画像処理装置。

【請求項 1 5】 外部装置からアクセス可能である W e b サーバ部と異なる表示領域をもつ表示装置とを有した画像処理装置の制御方法において、

前記画像処理装置の外部に接続された第 1 の W e b クライアントの外部装置に前記表示装置に表示されるメッセージを入力するためのクライアント表示画面情報を送信する送信ステップと、

前記クライアント表示画面情報に基づき表示されるクライアント表示画面を介して第 1 の W e b クライアントにより入力されたメッセージに基づく第 1 のメッセージ情報を受信する受信ステップと、

前記表示装置に前記受信した第 1 のメッセージ情報に基づき前記異なる表示領域の何れかにメッセージの表示を行う表示ステップとを有することを特徴とする画像処理装置の制御方法。

【請求項 1 6】 前記第 1 のメッセージ情報には前記異なる表示領域の何れかに表示されるよう制御される表示領域情報が含まれ、

前記表示領域情報は前記クライアント表示画面での異なる入力部に基づいた情報であることを特徴とする請求項 1 5 に記載の画像処理装置の制御方法。

【請求項 1 7】 前記表示ステップは前記第 1 のメッセージ情報を異なるタイミングで表示することを含むことを特徴とする請求項 1 5 に記載された画像処理装置の制御方法。

【請求項 1 8】 前記表示ステップは前記異なる領域ごとに前記第 1 のメッセージ情報を異なるタイミングで表示することを含むことを特徴とする請求項 1 5 から請求項 1 7 の何れかに記載された画像処理装置の制御方法。

【請求項 1 9】 前記第 1 のメッセージ情報には前記表示ステップにおいて表示されるメッセージが消去可能か否かの消去情報が含まれることを特徴とする

請求項 1 5 に記載の画像処理装置の制御方法。

【請求項 2 0】 前記メッセージが消去可能か否かの消去情報のうち消去可能な情報には前記表示ステップで表示される消去ボタンの消去ボタン情報が含まれることを特徴とする請求項 1 5 から請求項 1 9 の何れかに記載された画像処理装置の制御方法。

【請求項 2 1】 前記異なる表示領域は前記画像処理装置の状態を表示するステータス表示領域である第 1 の表示領域と、前記画像処理装置の操作画面を表示する操作画面表示領域である第 2 の表示領域を含むことを特徴とする請求項 1 5 に記載された画像処理装置の制御方法。

【請求項 2 2】 前記表示装置は前記操作画面を介して入力される操作を受け付ける機能を有した表示装置であることを特徴とする請求項 1 5 に記載された画像処理装置の制御方法。

【請求項 2 3】 前記表示ステップは前記第 2 の表示領域に前記メッセージを表示する場合に、前記操作画面を介して入力される操作を受け付ける機能を行わないことを含むことを特徴とする請求項 1 5 から請求項 2 2 の何れかに記載された画像処理装置の制御方法。

【請求項 2 4】 前記表示ステップは前記第 1 の表示領域における前記画像処理装置のステータス情報の表示を前記第 1 の表示領域での前記メッセージの表示に優先させて表示を行い、前記ステータス情報の表示が表示されない際に前記メッセージを表示することを含むことを特徴とする請求項 1 5 から請求項 2 1 の何れかに記載された画像処理装置の制御方法。

【請求項 2 5】 前記表示ステップは前記第 1 の表示領域、および／または、前記第 2 の表示領域での前記メッセージの表示を前記操作画面を介する操作が所定時間行われなかった際に行うことを含むことを特徴とする請求項 1 5 から請求項 2 1 の何れかに記載された画像処理装置の制御方法。

【請求項 2 6】 前記操作画面を介する操作が所定時間行われなかった際のタイミングは前記画像処理装置の表示装置に表示される表示画面がリセットされるオートクリアであることを特徴とする請求項 1 5 から請求項 2 1 の何れかに記載された画像処理装置の制御方法。

【請求項 2 7】 前記送信ステップは前記受信ステップにより受信した第 1 のメッセージ情報に基づく第 2 のメッセージ情報を前記画像処理装置の外部に接続された第 2 の W e b クライアントの外部装置に送信する第 2 の送信ステップを含み、

前記第 2 の送信ステップで前記第 2 の W e b クライアントの外部装置に送信された情報は前記第 2 の W e b クライアントの外部装置の画面に表示される画面情報であることを特徴とする請求項 1 5 に記載された画像処理装置の制御方法。

【請求項 2 8】 前記クライアント表示画面情報には、前記表示ステップにて表示される第 1 のメッセージ情報に基づく前記第 2 のメッセージ情報を、前記第 2 の W e b クライアントの外部装置の画面に表示させるか否かの表示／非表示の設定機能が含まれており、前記表示／非表示の設定に応じて前記第 2 の W e b クライアントの外部装置の画面への前記第 2 のメッセージ情報の表示の有無を制御するステップを有することを特徴とする請求項 2 7 に記載された画像処理装置の制御方法。

【請求項 2 9】 外部装置からアクセス可能である W e b サーバ部と異なる表示領域をもつ表示装置とを有した画像処理装置によって実行されるプログラムにおいて、

前記画像処理装置の外部に接続された第 1 の W e b クライアントの外部装置に前記表示装置に表示されるメッセージを入力するためのクライアント表示画面情報を送信する送信ステップと、

前記クライアント表示画面情報に基づき表示されるクライアント表示画面を介して第 1 の W e b クライアントにより入力されたメッセージに基づく第 1 のメッセージ情報を受信する受信ステップと、

前記表示装置に前記受信した第 1 のメッセージ情報に基づき前記異なる表示領域の何れかにメッセージの表示を行う表示ステップとを有することを特徴とするプログラム。

【請求項 3 0】 外部装置からアクセス可能である W e b サーバ部と異なる表示領域をもつ表示装置とを有した画像処理装置における処理を実現するためのプログラムコードが記憶された記憶媒体であって、

前記画像処理装置の外部に接続された第1のWebクライアントの外部装置に前記表示装置に表示されるメッセージを入力するためのクライアント表示画面情報を送信する送信ステップと、

前記クライアント表示画面情報に基づき表示されるクライアント表示画面を介して第1のWebクライアントにより入力されたメッセージに基づく第1のメッセージ情報を受信する受信ステップと、

前記表示装置に前記受信した第1のメッセージ情報に基づき前記異なる表示領域の何れかにメッセージの表示を行う表示ステップとを有することを特徴とするコンピュータ可読の記憶媒体。

【請求項31】 画像処理装置に設けられた表示部に表示されるメッセージの設定と、前記メッセージを表示するタイミングの設定と、を受け付ける受付手段と、

前記画像処理装置における所定の処理の設定を記憶する記憶手段と、

前記受付手段手段によって受け付けたタイミングの設定が、前記記憶手段に記憶された所定の処理の設定と比較して有効か否かを判断する判断手段と、

前記判断手段により有効でないと判断された場合には、前記メッセージの表示するタイミングの設定が有効でないことに対応して行われる所定の処理を行う手段とを有することを特徴とする画像処理装置。

【請求項32】 前記タイミングは前記画像処理装置の所定の処理が実行されるタイミングであって、前記記憶手段に記憶された所定の処理が実行されないように設定されていた場合に、前記判断手段は有効でないと判断することを特徴とする請求項31に記載の画像処理装置。

【請求項33】 前記有効でないことに対応して行われる所定の処理は警告メッセージを表示させる処理、或いは、前記記憶手段に記憶された設定を前記メッセージを表示するタイミングの設定が有効になるように変更する処理であることを特徴とする請求項31に記載の画像処理装置。

【請求項34】 前記受付手段は画像処理装置の外部に接続された端末装置から送信されてくる、メッセージの設定と、前記メッセージを表示するタイミングの設定とを受け付けることを特徴とする請求項31に記載の画像処理装置。

【請求項 3 5】 前記警告メッセージを表示させる処理は前記画像処理装置の外部に接続された端末装置に対する前記警告メッセージの送信処理であることを特徴とする請求項 3 3 に記載の画像処理装置。

【請求項 3 6】 画像処理装置に設けられた表示部に表示されるメッセージの設定と、前記メッセージを表示するタイミングの設定と、を受け付ける受付ステップと、

前記画像処理装置における所定の処理の設定を記憶させる記憶ステップと、

前記受付手段手段によって受け付けたタイミングの設定が、前記記憶手段に記憶された所定の処理の設定から有効か否かを判断する判断ステップと、

前記判断手段により有効でないと判断された場合には、前記メッセージの表示するタイミングの有効でないことに対応して行われる所定の処理を行うステップとを有することを特徴とする制御方法。

【請求項 3 7】 前記タイミングは前記画像処理装置の所定の処理が実行されるタイミングであって、前記記憶ステップにて記憶された所定の処理が実行されないように設定されていた場合に、前記判断ステップは有効でないと判断することを特徴とする請求項 3 6 に記載の制御方法。

【請求項 3 8】 前記有効でないことに対応して行われる所定の処理は警告メッセージを表示させる処理、或いは、前記記憶手段に記憶された設定を前記メッセージを表示するタイミングの設定が有効になるように変更する処理であることを特徴とする請求項 3 6 に記載の制御方法。

【請求項 3 9】 前記受付手段は画像処理装置の外部に接続された端末装置から送信されてくる、メッセージの設定と、前記メッセージを表示するタイミングの設定とを受け付けることを特徴とする請求項 3 6 に記載の制御方法。

【請求項 4 0】 前記警告メッセージを表示させる処理は前記画像処理装置の外部に接続された端末装置に対する前記警告メッセージの送信処理であることを特徴とする請求項 3 8 の何れかに記載の制御方法。

【請求項 4 1】 画像処理装置に設けられた表示部に表示されるメッセージの設定と、前記メッセージを表示するタイミングの設定と、を受け付ける受付ステップと、

前記画像処理装置における所定の処理の設定を記憶する記憶ステップと、
 前記受付手段手段によって受け付けたタイミングの設定が、前記記憶手段に記憶された所定の処理の設定から有効か否かを判断する判断ステップと、
 前記判断手段により有効でないと判断された場合には、前記メッセージの表示するタイミングの設定が有効でないことに対応して行われる所定の処理を行うステップとを有することを特徴とする画像処理装置に実行させるプログラム。

【請求項 4 2】 画像処理装置に設けられた表示部に表示されるメッセージの設定と、前記メッセージを表示するタイミングの設定と、を受け付ける受付ステップと、

前記画像処理装置における所定の処理の設定を記憶する記憶ステップと、
 前記受付手段手段によって受け付けたタイミングの設定が、前記記憶手段に記憶された所定の処理の設定から有効か否かを判断する判断ステップと、
 前記判断手段により有効でないと判断された場合には、前記メッセージの表示するタイミングの設定が有効でないことに対応して行われる所定の処理を行うステップとを実行するためのプログラムコードを記憶することを特徴とするコンピュータ可読の記憶媒体。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

本発明は、種々の情報を表示可能な表示装置及び画像処理機能を有した画像処理装置、特に、外部装置との接続に伴い、所定の処理を行うとともに種々の情報を表示可能な表示部を有した画像処理装置、その制御方法および該画像処理装置を制御するためのプログラム並びに該プログラムを格納したコンピュータ可読記憶媒体に関するものである。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】

従来より、画像処理装置として、例えば、コピー、ファクシミリ、プリンタ、あるいはこれら複数の機能にさらにスキャナ等の機能を備える複合機等の印刷装置が知られている。

【 0 0 0 3 】

このような印刷装置は種々の機能を利用するためにオペレータ／ユーザが操作入力を行ったり、種々の情報を表示するための操作部を有している。従来ではこの操作部はオペレータ／ユーザの操作入力を受け付けるとともに操作ガイダンスのための情報や装置の状態を表示する程度であった。また、印刷装置の管理者がオペレータ／ユーザに印刷装置の故障やメンテナンス告知等のメッセージを伝える方法としては、その内容を紙などに記して印刷装置に貼り付ける等の作業を行っていた。

【 0 0 0 4 】

また、印刷装置に種々の機能があるにもかかわらず、その機能をユーザに効率的に伝達する方法は無く、やはりその内容を記した紙を印刷装置に貼り付ける等の作業を行っていた。

【 0 0 0 5 】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、ユーザに伝えたい内容を紙に記して印刷装置に貼り付ける等の作業は、印刷装置管理者の作業としては、非常に煩雑なものであり、負荷となっていた。

【 0 0 0 6 】

また、印刷装置に貼り付けてあったメッセージを記した紙が外れる等の原因でユーザにメッセージが伝わっていなかったり、メッセージを伝えたい期間に効率良くメッセージを伝えることは困難であった。

【 0 0 0 7 】

また、管理者が印刷装置の使用制限をかけることはできず、さらにその旨をユーザに効果的かつ効率的に伝えることはできなかった。

【 0 0 0 8 】

また、管理者がメッセージの詳細な設定を行おうとする場合に、画像処理装置の種々の設定がメッセージに係わる設定に適していない場合などがあり、そのような事態は従来全く想定されていなかった。

【 0 0 0 9 】

本発明は、上述の問題点を解決するものであり、ユーザに所望の情報を効果的かつ効率的に伝達／通知することのできる、また管理者の負荷を軽減することのできる画像処理装置、その制御方法および該装置を制御するためのプログラム並びに該プログラムを格納したコンピュータ可読記憶媒体を提供することを目的とする。

【 0 0 1 0 】

【課題を解決するための手段】

本発明は、前記の目的を達成する一手段として、以下の構成を備える。

【 0 0 1 1 】

本発明にかかる画像処理装置は、外部装置からアクセス可能であるWebサーバ部を有した画像処理装置において、異なる表示領域を有した表示手段と、前記画像処理装置の外部に接続された第1のWebクライアントの外部装置に前記表示手段に表示されるメッセージを入力するためのクライアント表示画面情報を送信する送信手段と、前記クライアント表示画面情報に基づき表示されるクライアント表示画面を介して第1のWebクライアントにより入力されたメッセージに基づく第1のメッセージ情報を受信する受信手段とを有し、前記表示手段は前記受信した第1のメッセージ情報に基づき前記異なる表示領域の何れかにメッセージの表示を行うことを特徴とする。

【 0 0 1 2 】

また、本発明における画像処理装置は、画像処理装置に設けられた表示部に表示されるメッセージの設定と、前記メッセージを表示するタイミングの設定と、を受け付ける受付手段と、前記画像処理装置における所定の処理の設定を記憶する記憶手段と、前記受付手段手段によって受け付けたタイミングの設定が、前記記憶手段に記憶された所定の処理の設定と比較して有効か否かを判断する判断手段と、前記判断手段により有効でないと判断された場合には、前記メッセージの表示するタイミングの設定が有効でないことに対応して行われる所定の処理を行う手段とを有することを特徴とする。

【 0 0 1 3 】

【発明の実施の形態】

(第 1 の実施の形態)

以下、本発明の実施の形態を図面を参照しながら説明する。

【0014】

なお、実施形態では画像処理装置の一形態である印刷装置としてコピー、ファックス、プリンタ等の機能を有した複合機（画像処理装置）を一例として説明するが、コピー、ファックス、プリンタ等の単体の機能を持つ装置にも本発明を適用することができる。

【0015】

●画像処理装置

図 1 は本発明の画像処理装置の一例を示すブロック図である。図 1 において、ネットワーク 300 を介して画像処理装置 100、ホストコンピュータ 200 が接続されている。画像処理装置 100 はネットワーク接続手段 110、Web サーバ手段 120、データ保持手段 130、コントローラ手段 140、ユーザインターフェース手段 150、プリント手段 160、スキャン手段 170 を備えている。また、PC（パーソナルコンピュータ）200 にはネットワーク接続手段 210 と、アドレスブック編集手段 230 が備えられている。Web クライアント 220 はホストコンピュータ 200 の操作者を示すものである。

【0016】

ネットワーク接続手段 110 は、ネットワーク 300 に接続され、ネットワークとの間でデータの送受信を行うものであり、通信機能を司るものである。Web サーバ手段 120 は、HTTP（Hyper Text Transfer Protocol）による通信が可能なサーバで、HTTP の内容に対応して動作する。なお、Web サーバ手段においては処理対象となる言語は HTTP に限定されるものではなく、その他の通信プロトコルに従った様々な言語に対応するものとする。データ保持手段 130 は、コントローラから転送する画像データの宛先が含まれたデータベースで、ユーザインターフェース 150 によって、宛先を選択できる。

【0017】

コントローラ手段 140 は、スキャン手段 150 から画像データをとったり、

プリント手段 1 6 0 に画像データを出力したりする。また、ネットワーク接続手段 1 1 0 を介して、他の画像出力装置を宛先として画像データを転送して出力したり、サーバを宛先として転送してサーバのデータベースに保存することもできる。

【 0 0 1 8 】

上に説明した各手段を実際に実現するハードウェア構成（情報処理装置の代表図）の概略を図 2 0 に示す。2 0 0 1 は中央演算処理装置であり各デバイスを統括的に制御する。また、CPU 2 0 0 1 は不揮発性記憶手段（ROM 2 0 0 2）に記憶されたプログラムコードを読み込み、該読み込まれたプログラムコードに基づく処理を実行することにより、後述にて説明するフローチャートの各ステップ処理を実現する機能を有する。CPU 2 0 0 1 は、ROM 2 0 0 2 に記憶された記憶された制御プログラム等に基づいてシステムバス 1 5 に接続される各種のデバイスとのアクセスを統括的に制御し、印刷部 2 0 を介して接続される不図示の印刷部（プリンタエンジン）に出力情報としての画像信号を出力する。

【 0 0 1 9 】

また、双方向を介して CPU 2 0 0 1 は外部の電子機器との通信処理が可能となっており、例えば、外部からの印刷データを受信したり、画像処理装置内の情報等を外部の電子機器に通知可能に構成されており、データの送受信を実現する。RAM 2 0 0 3 は CPU 2 0 0 1 の主メモリ、ワークエリア等として機能する部分である。

【 0 0 2 0 】

入力部 2 0 0 4 は画像処理装置本体に設けられた、或いは、ケーブル等を介して接続された入力部より入力される信号を入力する機能を有している。出力部 2 0 0 5 は文字、図形情報等の情報を表示させる機能を有する。また、場合によっては CCD 装置を該当させることにより読み込み装置として想定することもできる。

【 0 0 2 1 】

外部記憶装置 [ハードディスク] 2 0 0 6 は書き換え可能な不揮発性記憶手段であり、ブートプログラム、種々のアプリケーション、フォントデータ、ユーザフ

ファイル、編集ファイル等を記憶するハードディスク（HD）に該当するものである。また、本発明においては特にメッセージ情報を記憶する不揮発性記憶手段に対応するものである。

【 0 0 2 2 】

今説明した図 2 0 に示される各構成単独、或いは、複数個協働して動作することにより、実際には図 1 に示される各手段の機能が実現される。例えば、図 2 0 に示される CPU 2 0 0 1 による ROM 2 0 0 2 （或いはハードディスク 2 0 0 7 ）に記憶されたプログラムコードに基づく制御処理に応じて印刷部 2 0 0 5 、双方向通信部 2 0 0 6 、ハードディスク 2 0 0 7 、出力部 2 0 0 8 が動作し、各ブロックの機能が実現される。

【 0 0 2 3 】

●システム全体図

本発明のシステム全体の構成図を図 2 に示す。1 0 0 1 は本発明の画像処理装置で、後述するスキャナとプリンタを構成要素として有し、スキャナから読み込んだ画像をローカルエリアネットワーク 1 0 1 0 （以下 LAN ）に送信したり、LAN 1 0 1 0 から受信した画像をプリンタ 1 0 4 0 によりプリントアウトできる。また、スキャナから読み込んだ画像データを図示しない FAX 送信手段により、PSTN 又は ISDN 1 0 3 0 を介して送信したり、PSTN または ISDN 1 0 3 0 を介して受信した画像をプリンタ 1 0 4 0 によりプリントアウトできる。データベースサーバ 1 0 0 2 は本発明の装置 1 0 0 1 により読み込んだ 2 値画像及び／または多値画像をデータベースとして管理する。1 0 0 3 は、データベースサーバ 1 0 0 2 のデータベースクライアントで、データベース 1 0 0 2 に保存されている画像データを閲覧／検索等できる。1 0 0 4 は、電子メールサーバで、本発明の装置 1 0 0 1 により読み込んだ画像を電子メールの添付として受け取ることができる。1 0 0 5 は、電子メールのクライアントで、電子メールサーバ 1 0 0 4 の受け取ったメールを受信し閲覧したり、電子メールを送信したり、可能である。1 0 0 6 が HTML 文書を LAN に提供する WWW サーバで、本発明の装置 1 0 0 1 により WWW サーバで提供される HTML 文書をプリントアウトできる。1 0 0 7 は、ルータで LAN 1 0 1 0 をインターネット／イントラ

ネット 1 0 1 2 と連結する。インターネット／イントラネットに、前述したデータベースサーバ 1 0 0 2、WWWサーバ 1 0 0 6、電子メールサーバ 1 0 0 4、本発明の装置 1 0 0 1 と同様の装置が、それぞれ 1 0 2 0、1 0 2 1、1 0 2 2、1 0 2 3 として連結している。一方、本発明の装置 1 0 0 1 は、PSTN または ISDN 1 0 3 0 を介して、FAX 装置 1 0 3 1 と送受信可能になっている。また、LAN 上にプリンタ 1 0 4 0 も連結されており、本発明の装置 1 0 0 1 により読み取った画像をプリントアウト可能なように構成されている。

【 0 0 2 4 】

ここで、1 0 0 1 の画像処理装置、或いは、プリンタ 1 0 4 0、FAX などは、図 2 0 で示されたものと同様の構成として想定することができ、また、各データベースサーバ、電子メールクライアント、電子メールサーバ、WWWサーバなどは一般的な情報処理装置と同様の構成を有しており、図 1 にて説明したホストコンピュータ及び図 2 0 に示した構成から印刷部を省略したような構成を持つものとして想定される。

【 0 0 2 5 】

●ソフトウェアブロック全体構成

図 3 は、本発明を実施した複合機のソフトウェアブロック図である。これら、ソフトウェア機能は図 2 0 に示した、ROM 2 0 0 2、或いは、ハードディスク 2 0 0 7 に記憶されたプログラムコードに基づく処理を CPU 2 0 0 1 が処理することに応じて実現されるものである。

【 0 0 2 6 】

1 5 0 1 はユーザインターフェイス（以下 UI）であり、オペレータが画像処理装置（本複合機）の各種操作・設定を行う際、機器との仲介を行うモジュールである。本モジュールは、オペレータの操作に従い、後述の各種モジュールに入力情報を転送し処理の依頼、或いはデータの設定等を行う。

【 0 0 2 7 】

1 5 0 2 は Address-Book 即ちデータの送付先、通信先等を管理するデータベースモジュールである。Address-Book の内容は、UI 1 5 0 1 からの操作によりデータの追加、削除、取得が行われ、オペレータの操作

により後述の各モジュールにデータの送付・通信先情報を与えるものとして使用されるものである。

【0028】

1503はWeb-Serverモジュールであり、図外のWebクライアントからの要求により、本複合機の管理情報を通知するために使用される。管理情報は、後述のControl-AP1518を介して読み込まれ、後述のHTTP1512、TCP/IP1516、Network-Driver1517を介してWebクライアントに通知される。

【0029】

1504はUniversal-Send即ち、データの配信を司るモジュールであり、UI1501によりオペレータに指示されたデータを、同様に指示された通信出力先に配布／配信するものである。また、オペレータにより、本機器のスキナ機能を使用し配布／配信データの生成が指示された場合には、後述のControl-AP1518を介して機器を動作させ、データの生成を行う。

【0030】

1505はUniversal-Send1504内で出力先にプリンタが指定された際に実行されるモジュールである。

【0031】

1506はUniversal-Send1504内で通信先にE-mailアドレスが指定された際に実行されるモジュールである。

【0032】

1507はUniversal-Send1504内で出力先にデータベースが指定された際に実行されるモジュールである。

【0033】

1508はUniversal-Send1504内で出力先に本機器と同様の複合機が指定された際に実行されるモジュールである。

【0034】

1509はRemote-Copy-Scanモジュールであり、本複合機の

スキャナ機能を使用し、ネットワーク等で接続された他の複合機を出力先とし、本複合機単体で実現しているC o p y機能と同等の処理を行うモジュールである。

【0035】

1510はRemote-Copy-Printモジュールであり、本複合機のプリンタ機能を使用し、ネットワーク等で接続された他の複合機を入力先とし、本複合機単体で実現しているC o p y機能と同等の処理を行うモジュールである。

【0036】

1511はWeb-Pull-Print即ちインターネットまたはイントラネット上の各種ホームページの情報を読み出し、印刷するモジュールである。

【0037】

1512は本複合機がHTTPにより通信する際に使用されるモジュールであり、後述のTCP/IP1516モジュールにより前述のWeb-Server1503、Web-Pull-Print1511モジュールに通信を提供するものである。

【0038】

1513はlprモジュールであり、後述のTCP/IP1516モジュールにより前述のUniversal-Send1504内のプリンタモジュール1505に通信を提供するものである。

【0039】

1514はSMTPモジュールであり、後述のTCP/IP1516モジュールにより前述のUniversal-Send1504内のE-mailモジュール1506に通信を提供するものである。

【0040】

1515はSLM即ちSalutation-Managerモジュールであり、後述のTCP/IP1516モジュールにより前述のUniversal-Send1504内のデータベースモジュール1507、DPモジュール1508、及びRemote-Copy-Scan1509モジュール、Remote

-Copy-Print1510モジュールに通信を提供するものである。

【0041】

1516はTCP/IP通信モジュールであり、前述の各種モジュールに後述のNetwork-Driverによりネットワーク通信を提供するものである。

【0042】

1517はネットワークドライバであり、ネットワークに物理的に接続される部分を制御するものである。

【0043】

1518はControl-AP Iであり、Universal-Send1504等の上流モジュールに対し、後述のJob-Manager1519等の下流モジュールとのインターフェイスを提供するものであり、上流、及び下流のモジュール間の依存関係を軽減しそれぞれの流用性を高めるものである。

【0044】

1519はJob-Managerであり、前述の各種モジュールよりControl-AP I1518を介して指示される処理を解釈し、後述の各モジュールに指示を与えるものである。また、本モジュールは、本複合機内で実行されるハード的な処理を一元管理するものである。

【0045】

1520はCODEC-Managerであり、Job-Manager1519が指示する処理の中でデータの各種圧縮・伸長を管理・制御するものである。

【0046】

1521はFBE-Encoderであり、Job-Manager1519、Scan-Manager1524により実行されるスキャン処理により読み込まれたデータをFBEフォーマットにより圧縮するものである。

【0047】

1522はJPEG-CODECであり、Job-Manager1519、Scan-Manager1524により実行されるスキャン処理、及びPri

nt-Manager 1526により実行される印刷処理において、読み込まれたデータのJ P E G圧縮及び印刷データのJ P E G展開処理を行うものである。

【0048】

1523はMMR-CODECであり、Job-Manager 1519、Scan-Manager 1524により実行されるスキャン処理、及びPrint-Manager 1526により実行される印刷処理において、読み込まれたデータのMMR圧縮及び印刷データのMMR伸長処理を行うものである。

【0049】

1524はScan-Managerであり、Job-Manager 1519が指示するスキャン処理を管理・制御するものである。

【0050】

1525はSCSIドライバであり、Scan-Manager 1524と本複合機が内部的に接続しているスキャナ部との通信を行うものである。

【0051】

1526はPrint-Managerであり、Job-Manager 1519が指示する印刷処理を管理・制御するものである。

【0052】

1527はEngine-I/Fドライバであり、Print-Manager 1526と印刷部とのI/Fを提供するものである。

【0053】

1528はパラレルポートドライバであり、Web-Pull-Print 1511がパラレルポートを介して図外の出力機器にデータを出力する際のI/Fを提供するものである。

【0054】

●User Interface アプリケーション

Address Book 1502について説明する。このAddress Bookは、本発明の機器内の不揮発性の記憶装置（不揮発性メモリやハードディスクなど）に保存されており、この中には、ネットワークに接続された他の機器の特徴が記載されている。

【0055】

例えば、以下に列挙するようなものが含まれている。

機器の正式名やエイリアス名

機器のネットワークアドレス

機器の処理可能なネットワークプロトコル

機器の処理可能なドキュメントフォーマット

機器の処理可能な圧縮タイプ

機器の処理可能なイメージ解像度

プリンタ機器の場合の給紙可能な紙サイズ、給紙段情報

サーバ（コンピュータ）機器の場合のドキュメントを格納可能なフォルダ名

以下に説明する各アプリケーションは、上記 Address Book 1502 に記載された情報により配信先の特徴を判別することが可能となる。

【0056】

●リモートコピーアプリケーション

リモートコピーアプリケーションは、配信先に指定された機器の処理可能な解像度情報を前記 Address Book 1502 より判別し、それに従い、スキヤナにより読み込まれた画像 2 値画像を公知の MMR 圧縮を用いて圧縮し、それを公知の T I F F (T a g g e d I m a g e F i l e F o r m a t) 化し、S L M に通して、ネットワーク上のプリンタ機器に送信する。S L M とは、詳細には説明しないが、公知の S a l u t a t i o n M a n a g e r (または、S m a r t L i n k M a n a g e r) と呼ばれる機器制御情報などを含んだネットワークプロトコルの一種である。

【0057】

●操作部概要

操作部の全体構成を図 4 に示す。L C D 表示部 (3 0 0 1) は、L C D 上にタッチパネルシートが貼られており、システムの操作画面を表示するとともに、表示されているキーが押されるとその位置情報を機器内に装備されたコントローラ C P U (中央演算処理装置) に伝える。スタートキー (3 0 0 2) は原稿画像の読取り動作を開始する時などに用いる。スタートキー中央部には、緑と赤の 2 色

LEDがあり、その色によってスタートキーが使える状態にあるかどうかを示す。ストップキー（3003）は稼働中の動作を止める働きをする。IDキー（3004）は使用者のユーザーIDを入力するときに用いる。リセットキー（3005）は操作部からの設定を初期化するときに用いる。

【0058】

以下で操作部の各画面について詳細に説明する。

【0059】

●操作画面

操作画面を図5に示す。本実施例での装置が提供する機能は、Copy / Send / Retrieve / Tasks / Management / Configurationの6つの大きなカテゴリーに分かれており、これらは操作画面（3010）上の上部のタブ表示部に表示される6つのメインタブ（COPY / SEND / RETREIVE / TASKS / MGMT / CONFIG）（3011～3016）に対応している。これらのメインタブを押すことにより、各カテゴリーの画面への表示の切り替えが行われる。他カテゴリーへの切り換えが許可されない場合は、メインタブの表示色が変わり、メインタブを押しても反応しない。

【0060】

Copyは自機が有するスキャナとプリンタを使用して通常のドキュメント複写を行う機能と、自機が有するスキャナとネットワークで接続されたプリンタを使用してドキュメントの複写を行う機能（リモートコピー）を含む。

【0061】

Sendは自機が有するスキャナに置かれたドキュメントを、電子メール、リモートプリンタ、ファックス、ファイル転送（FTP）およびデータベースに転送する機能であり、宛先を複数指定することが可能である。

【0062】

Retrieveは外部にあるドキュメントを取得し、自機が有するプリンタで印刷する機能である。ドキュメントの取得手段としてWWW、電子メール、ファイル転送およびファックスの使用が可能である。

【 0 0 6 3 】

T a s k s はファックスやインターネットプリントなどの外部から送られるドキュメントを自動処理し、定期的に R e t r i e v e を行うためのタスクの生成、管理を行う。

【 0 0 6 4 】

M a n a g e m e n t はジョブ・アドレス帳・ブックマーク・ドキュメント・アカウント情報などの管理を行う。

【 0 0 6 5 】

C o n f i g u r a t i o n では自機に関する設定（ネットワーク、時計など）を行う。

【 0 0 6 6 】

ステータス表示部（3 0 1 7）は装置の状態（プリンタの紙なし、トナーなしなど）および装置が提供する機能の状態（コピーや送信、受信動作など）を表示する領域である。また、操作画面（3 0 1 0）の上部に位置する前記タブ表示部とステータス表示部（3 0 1 7）の間にはメイン表示部があり、メイン表示部にはメイン操作画面が表示されている。メイン表示部にはコピー、ファックス、プリンタ、スキャナ等の操作画面（操作パネル画面）が表示されている領域である。このように、本実施例での装置の操作画面の各表示領域には、それぞれの機能が振り分けられている。

【 0 0 6 7 】

次に、本発明の装置の外部に接続された W e b クライアントの端末装置画面上で表示される画面の一例の説明をする。また、以下説明する画面は W e b サーバ手段 1 2 0 によって提供されるものである。

【 0 0 6 8 】

図 1 3 は W e b クライアントのシステム管理設定画面である。装置管理者（W e b クライアント）がシステムの管理を行う際に使用する設定画面である。

【 0 0 6 9 】

左側のユーザモード（3 1 0 1）およびシステム管理（3 1 0 2）の選択ボタンを選択すると現在登録されている掲示板（3 1 0 3）、サポートリンク URL

(3104)、システム管理設定編集ボタン(3105)を表示する。登録内容の新規登録、修正は編集ボタン(3105)を選択することによりシステム管理設定の編集が行える。

【0070】

図14はシステム管理設定の編集画面であり、図13の編集ボタン(3105)を選択することにより表示される画面である。

【0071】

OK(3201)、キャンセル(3202)は編集内容の登録およびキャンセル選択ボタンである。IDと暗証番号の登録(3203)ボタンはIDと暗証番号の入力選択ボタンであり、IDと暗証番号の登録をすることにより編集の利用者制限を提供している。

【0072】

ステータス表示部メッセージ記入欄(3204)は、図5に示された前記ステータス表示部(3017)を掲示板として使用するメッセージを登録する領域である。ポップアップウインド表示部メッセージ記入欄(3205)は操作表示部に全体画面表示(ポップアップウインドウ)形式の掲示板として表示するメッセージを登録するためにメッセージを入力する領域です。掲示板に表示される全体画面表示形式の掲示板は表示方法選択ボタン(3206)によって選択される。なお全体画面表示とは操作画面(3010)の全体を用いて表示するということを目指すだけではなく、操作画面(3010)のステータス表示部(3017)および／またはタブ表示部(操作画面3010の情報)を除いた、その他の表示領域を指したりするものでもより、すなわち、操作画面の表示領域のうち広い部分を指すものを想定することができる。

【0073】

3207はWEBクライアントのトップページに掲示板の設定内容を表示する／しないの選択ボタンである。図14においては、”トップページに表示する”のチェック欄にチェックがなされているので、WEBクライアントの表示画面のトップページにはポップアップウインド表示部メッセージ記入欄(3205)にて入力されたものに対応するメッセージが表示される(後述の図15に相当)。

【 0 0 7 4 】

一方、表示をしない設定された場合、即ち、図 1 4 のリモート UI のチェックボックス 3 2 0 7 にて” トップページに表示する” の選択がなされなかった場合には、後述する図 1 5 のメッセージ表示 3 3 0 2 にはメッセージが表示されないことに対応する。

【 0 0 7 5 】

また、本発明でいうトップページとは、ブラウザを起動して最初に表示される表示画面を指すものであり、例えば、ファイル特定情報を除いた IP アドレスから特定される表示画面情報から表示されるものに相当するものである。

【 0 0 7 6 】

上述で説明した Web クライアント（装置管理者）の端末装置画面上で入力されたデータはネットワーク接続手段を介して 1 1 0 およびネットワーク接続手段 2 1 0 を介して本装置に送信され、本装置で受信されデータ保持手段（1 2 0）により保持される。また、Web クライアントからの Web サーバ手段 1 2 0 へのアクセスが発生すると、ネットワーク接続手段を介して 1 1 0 およびネットワーク接続手段 2 1 0 の双方を介して保存されたデータに基づく画像が Web サーバ手段 1 2 0 により Web クライアントに提供される。

【 0 0 7 7 】

上に説明したように管理者は、図 1 4 に示したような設定画面を介して、管理者は画像処理装置の表示部、或いは、WEB クライアントの表示部に表示されるメッセージなどを設定することが可能となり、従来では、わざわざ紙等の媒体にメッセージを記入して貼り付けていたような形態に比べて管理者の不可を軽減することができる。

【 0 0 7 8 】

また、3 2 0 7 の設定欄を設けることにより、WEB クライアント（端末装置）がブラウザを介してメッセージ情報を閲覧することができるようにすることができるか否かを設定することも可能となり、例えば、皆に伝えたいような重要なメッセージの場合には、該チェック欄（3 2 0 7）をチェックすることにより、WEB クライアントが閲覧するようにして、皆に注意を促すことができる。

【 0 0 7 9 】

また、そのようなメッセージでない場合に

以下にそのWebクライアントに提供される表示画面の説明をする。

【 0 0 8 0 】

図15はWEBクライアント（端末装置）の画面上に表示されるトップページ画面である。

【 0 0 8 1 】

3301はプリンタ、スキャナ、ファックスの状態を表示したものである。WebクライアントのWebサーバ120へのアクセス時の本装置のステータス情報に基づいてこの情報が作成される。

【 0 0 8 2 】

管理者メッセージ（3302）は装置に掲示板として表示されるメッセージ表示であり、上述で説明した、図14におけるシステム管理設定の編集画面のポップアップウインド表示部メッセージ記入欄（3205）で入力されたメッセージが表示され、これにより管理者以外の複数のWebクライアントが複合機の管理状態を各端末装置画面上で見ることが可能となり、管理者の管理負荷の軽減だけでなく、ユーザも容易に管理情報を知ることができる。ここで、図16を利用してクライアントコンピュータにメッセージが表示される際のWebサーバの処理を説明する。なお、図16は装置本体に設けられたCPU2001が不揮発性記憶手段（ROM2002、ハードディスク2007等に相当）に記憶されたプログラムコードを読み込み、該読み込まれたプログラムコードに基づく処理を実行することによって実現されるものとする。

【 0 0 8 3 】

まず、ステップS1601において処理を開始する。そして、ステップS1602において、装置本体に記憶されるファイル情報の要求がネットワークを介して通信可能な外部装置から送信されてきた情報を受信したか否かの判定が行われる。尚、前記ネットワークとは、図1のネットワーク300、或いは、図2におけるローカルエリアネットワーク1010、インターネット/インターネットなどが対応する。

【 0 0 8 4 】

次にステップ S 1603 においては、プリント要求などの他の処理に関する要求が外部からあったか否かの判定を行い、要求があると判定すればステップ S 1604 において、他の処理の実行を行った後、ステップ S 1602 の処理を繰り返し実行する。

【 0 0 8 5 】

一方、ステップ S 1602 で外部装置からのファイル情報の要求があったと判定されれば、ステップ S 1605 において、要求されたファイル情報を特定するとともに、記憶部に記憶された該要求ファイル情報の読み込みを行う。この際に、記憶部は装置本体内部に設けられたものでも、外部に通信回線を介して接続されたものでも良いこととする。また、本発明においては記憶部に記憶され、外部から要求されたファイルは例えば上の図 1 4 にて説明したシステム管理設定の編集画面を介して設定されたものであり、データ保持手段 (1 2 0) に記憶されたものに該当し、且つ、例えば、図 1 5 に示されたような W E B クライアント (端末装置) の表示部に表示される画面様子を生成するための情報に該当するものである。

【 0 0 8 6 】

以下に、W e b クライアントが W e b サーバと通信し、掲示板表示メッセージデータを装置内に送信し、装置に表示されるまでの仕組みを図 6、図 1 0、図 1 1、図 1 2 に示されるフローチャートを用いて説明する。なお図 6、図 1 0、図 1 1 及び図 1 2 に示されるフローチャートは複合機 (本装置) 内に装備される記憶手段に記憶されたプログラムコードに基づく処理を複合機 (本装置) 内に装備される C P U (中央演算処理装置) が行うことによって実現される処理である。

【 0 0 8 7 】

図 6 は一連の動作を示すフローチャートである。ステップ S 6 0 1 では W e b クライアントが W e b サーバと通信し、掲示板表示メッセージデータを装置内に送信するデータを受信する。ステップ S 6 0 2 では受信したデータ (メッセージ) を図 1 の前記データ保持手段 (1 3 0)、例えばハードディスクに保存する。

【 0 0 8 8 】

ここで図 1 4 の W e b クライアントのシステム管理設定の編集画面 (4 2 0 0

）で設定され送信されたデータを受信し、ステップ S 6 0 3 では該データにおいてメッセージが表示されるよう指定された画面がメイン表示部かどうか判断し、メイン表示画面全体表示でなかった場合は、ステップ S 6 0 4 で前記ステータス表示部（3 0 1 7）に装置の状態（プリンタの紙なし、トナーなしなど）および装置が提供する機能の状態（コピーや送信、受信動作など）のステータスメッセージが表示されているかどうか判断し、表示されていると判断した場合は S 6 0 5 でステータスメッセージの表示を維持し、メッセージが表示可能になるまで待つ、表示可能（ステータスメッセージが表示されていない）であればステップ S 6 0 6 で受け取ったメッセージを図 7 に示すように表示する。このメッセージは消去コマンドが来るか、より優先順位の高い装置の状態（プリンタの紙なし、トナーなしなど）および装置が提供する機能の状態（コピーや送信、受信動作など）のメッセージが表示されるまで表示を続ける。またメッセージは前述の通りハードディスクに保存されているので電源を切っても保存されており、次に電源を立ち上げた場合には再度表示される。図 1 2 にフローチャットを示す。

【 0 0 8 9 】

ステップ S 6 0 3 においてメイン表示部への表示であった場合にはステップ S 6 0 7 においてすぐに表示するメッセージかどうか、すなわち常に表示する否かの表示方式の判断処理を行う。常に表示するメッセージと判断された場合には、ステップ S 6 0 8 でメイン表示部にメッセージの表示を行う。この後の A の処理について説明すると、図 1 0 のフローチャートに示されるように、メッセージを常に表示する処理は、常に表示する情報が解除されるか、メッセージの表示を消去する指示がない限り消去されることはない。これらは図 1 4 の表示方法選択ボタン（3 2 0 6）およびポップアップウインド表示部メッセージ記入欄（3 2 0 5）の操作によって作成される情報である。また、常に表示されている状態が維持された場合は、装置の操作画面が表示されず、ユーザの機器の使用制限としての機能も持ち合わせている。また、ステップ S 1 0 0 3 で再びメイン表示部に操作画面が表示された場合には図 6 に示されるフローチャートは一旦終了する。

【 0 0 9 0 】

一方、常に表示するメッセージでなかった場合にはステップ S 6 0 9 において

タイマをセットし、指定された所定時間だけ表示を待つ。今回の実施例でのタイマは、一般に知られているオートクリア（操作画面を一定時間操作されなかったときにリセットする機能）などの装置が有するタイマを使用することで説明する。ステップ S 6 1 0 で所定の時間が経過するとステップ S 6 1 1 で図 8 で示すようなメッセージをコピーの画面に表示する。この後の B の処理について説明する。図 1 1 のフローチャートに示されるように、このメッセージは図 8 のコピー画面においてユーザから消去指定（OK キーの押下）があるか、メッセージの表示の解除が行われるまで表示される。消去指定があった場合には、再びステップ S 6 0 3、S 6 0 7、S 6 0 9 を経て、指定された時間がたてば再び図 8 で示されるようなメッセージを表示する。またメッセージおよびメッセージの表示条件は前述の通りハードディスクに保存されているので電源を切っても保存されており、次に電源を立ち上げられた場合には、その保存されたメッセージと同じ内容および条件で再度メッセージが表示される。図 1 2 に装置の電源起動時処理のフローチャートを示す。

【 0 0 9 1 】

（第 2 の実施の形態）

第 2 の実施の形態においては、第 1 の実施の形態にて説明した図 1 4 における設定画面においては、メッセージ入力欄 3204 に入力されたメッセージ情報を、画像処理装置の表示部と、画像処理装置に通信回線を介して通信可能な WEB クライアント（端末装置）の表示部とに異なる表示方法で設定が可能となる仕組みについての説明を行ってきた。具体的には、上にも説明したように、画像処理装置本体の表示部に「常に表示」、「オートクリア時に表示」などの異なる表示方法で表示するような設定、また、リモート UI、即ち WEB クライアントが画像処理装置の表示部に表示されているようなメッセージ情報を閲覧する際に、前記ブラウザの表示画面のトップページに掲示板の設定内容を表示する／しないの設定が行えることについて説明してきた。

【 0 0 9 2 】

第 2 の実施の形態においては、画像処理装置の表示部に表示されるメッセージ情報を、WEB クライアントが閲覧する際に、更に、効率的にメッセージを伝達す

ることができる仕組みについての説明を行う。

【 0 0 9 3 】

第 2 の実施の形態における、画像処理装置の動作について、図 1 7 を用いて説明を行う。ここで、図 1 7 のフローチャートに示される各ステップの処理は、装置に設けられた CPU（図の CPU に相当）が不揮発性記憶手段（図の ROM あるいは HDD に相当）に記憶されたプログラムコードを読み込むこみ、該読み込んだプログラムコードに基づく処理を実行することにより実現するものとする。

【 0 0 9 4 】

まずステップ S 1 7 0 1 にて処理がスタートする。

【 0 0 9 5 】

次に、ステップ S 1 7 0 2 では、第 1 の実施の形態の図 1 4 にて説明したような管理者設定画面の 3 2 0 4、3 2 0 5 などを通して入力されたメッセージ情報を示す情報の受信処理が行われる。

【 0 0 9 6 】

ステップ S 1 7 0 3 では、ステップ S 1 7 0 2 にて受信したメッセージがどのような種類のメッセージであったか否かの判断が行われる。即ち、ステップ S 1 7 0 3 では、受信したメッセージ情報が図 1 4 のステータス表示部に表示されるメッセージなのか（図 1 4 の 3 2 0 4 を介して設定されたメッセージなのか）、或るいは、メイン表示部に表示されるメッセージなのか（図 1 4 の 3 2 0 5 を介して入力されたメッセージなのか）の判断が行われる。

【 0 0 9 7 】

S 1 7 0 3 でメイン表示部への表示させるよう設定されたメッセージでないと判断された場合、即ち、ステータス表示部（図 7 の「ドラフト印刷の時はトナー節約モードで、」が表示される部分）に表示されるように設定されたメッセージ情報であると判断された場合には、ステップ S 1 7 0 4 にてステータス表示部にステータスメッセージ（例えば、図 8 中の「トナー切れ」のメッセージに対応）が表示されているか否かの判断が行われる。ステータス表示部にメッセージが表示されていると判断された場合には、ステップ S 1 7 0 5 に処理を移行し、表示されていないと判断された場合にはステップ S 1 7 0 9 へ処理を移行する。

【0098】

ステップS1705では、ステータスメッセージ表示を表示する処理を継続し、ステップS1706では、ステップS1705の処理に対応して、WebクライアントのTOP画面にメッセージが表示されないような制御が行われる。該制御は、Webクライアントが利用する端末装置にメッセージ情報が含まれないような表示を行わせるための情報を画像処理装置から端末装置に所定の通信回線（LAN等）を介して送信を行う画像処理装置の処理をさす。また、別の形態として、画像処理装置からWebクライアントの利用する端末装置にメッセージ情報を含む表示情報（例えば図15に示されるような表示様子の画面を表示させるための情報）を送信する際に、メッセージ情報を端末装置側で表示させないような設定にするためのフラグ情報を含めるような形態も本発明では想定される。

【0099】

また、ステップS1709では、図14の3204を介してステータス表示部に表示されるよう設定されたメッセージの表示がなされ、続いて、ステップS1710ではWebクライアントのTOP画面にメッセージの表示がなされるような制御が行われる。該制御ではWebクライアントのTOP画面に表示するための情報にメッセージ情報が含まれるよう表示するための情報の生成が行われる。

【0100】

一方、ステップS1703にて、ステップS1702にて受信したメッセージがメイン表示部に表示されるメッセージ（図14の3205を介して入力されたメッセージなのか）と判断された場合には、ステップS1707にて、常に表示されるよう設定された（図14の3206の設定に対応）メッセージか否かの判断が行われる。

【0101】

管理者装置から常に設定されるよう設定されていると判断された場合には、ステップS1710にて画像処理装置本体表示部のメイン表示部にメッセージの表示が行われるとともに、ステップS1711にてWebラインとTOP画面にS1710にて表示されるメッセージと同様のメッセージを表示させるような制御処理が行われる。

【 0 1 0 2 】

また、ステップ S 1 7 0 7 にて、常に表示されるよう設定されたメッセージではないと判断された場合には、ステップ S 1 7 0 8 にてオートクリアしたか否かの判断が行われ、オートクリアしたと判断された場合には、ステップ S 1 7 1 0 の処理に移行する。ここで、ステップ S 1 7 1 0 移行の処理は前に説明したものと同様のものであるのでここでは、省略する。また、ステップ S 1 7 0 8 の判断処理で、オートクリアしていないと判断された場合には、ステップ S 1 7 0 6 の処理へ移行して、再びステップ S 1 7 0 3 からの処理を繰り返す。

【 0 1 0 3 】

このように、Webクライアントの利用する端末装置の表示部には、画像処理装置本体の表示部の表示様子と同期したものが表示され、より、Webクライアントは画像処理装置のステータス情報等を知るとともに、ステータス情報を知る必要性のない場合、即ち、画像処理装置の表示部にステータス情報が表示されていないような場合には、メッセージを閲覧することができ、Webクライアントはより効率的に情報を得ることが可能になるとともに、管理者はより効率的にメッセージの情報の提供を行うことができる。

【 0 1 0 4 】

(第 3 の実施の形態)

第 1 の実施の形態では、一般に知られているオートクリア（操作画面が一定時間操作されなかったときにリセットする機能）などで利用される装置が有するタイマを使用することで、ステップ S 6 0 9 においてタイマをセットし、指定された所定時間だけメッセージの表示を待つこと等を説明してきた。また、第 2 の実施の形態においては、ステップ S 1 7 0 8 で説明したように、オートクリアしたか否かの判断処理に応じて画像処理装置本体の表示部への表示、或いは、Webクライアントの表示に係わる処理についての説明を行ってきた。

【 0 1 0 5 】

しかしながら、画像処理装置には、一般に知られているオートクリア（操作画面を一定時間操作されなかったときに用紙サイズ等の設定をリセットする機能）を有効としない設定機能を有するものもある。ここで、オートクリアとは上の第

1の実施の形態、第2の実施の形態でも同様のものとするが、例えば、複写機などの画像処理装置の用紙サイズ、コピー縮小率などの設定において、通常時の設定（デフォルト値）とは異なる設定がなされている際に一定時間操作部への操作がなされないと設置値（ここでは、例えば、用紙サイズ、縮小率等）が通常値（デフォルト値）に自動的に再設定される処理のことを指すものとする。このようにオートクリアを有効としない設定が画像処理装置になされている場合に、管理者が上に説明したように例えば図14の3206をオートクリアのタイミングでメッセージを表示するよう設定したとしても、実際にはメッセージが表示されるタイミング（処理）が行われなかったためにメッセージが表示されないという自体が発生してしまう。ここで、オートクリアを無効にする処理としては、例えば、図6のステップS609の処理において、一定時間に無限時間を割り当てるような処理、或いは、図609の手前にオートクリアが有効に設定されているか否かの判定処理を挿入したような形態で、オートクリアが有効に設定されていれば、ステップS609の処理に移行し、無効に設定されていれば、ステップS603からの処理を繰り返すような形態が想定される。また、図14の3206を介してオートクリア時にメッセージを画像処理装置の表示部に表示するような設定がなされていた場合に、例えば、画像処理装置本体の操作部を介してオートクリアを無効にするような設定入力となされた場合に、オートクリアが行われなくなるためにメッセージが表示されないという不都合が発生してしまう。

【0106】

第3の実施の形態においてはこのようにメッセージを表示しようとするタイミングが発生しないような設定が画像処理装置本体になされるような場合に、メッセージ表示がなされないことをユーザが知ることができないような自体を効率的に予防するための仕組みについての説明を行う。

【0107】

図18は本発明における画像処理装置本体の処理を示すものである。ここで、図18のフローチャートに示される各ステップの処理は、装置に設けられたCPU（図のCPUに相当）が不揮発性記憶手段（図のROMあるいはHDDに相当）に記憶されたプログラムコードを読み込み、該読み込んだプログラムコードに基づく処理

を実行することにより実現するものとする。また、図 1 8 の処理が画像処理装置によって行なわれる際に、画像処理装置には該画像処理装置内に設けられた操作部（設定部）を介して、上に説明したオートクリア処理の設定が無効に設定されている状態を前提とするものとして説明を行なう。

【 0 1 0 8 】

まず、管理者用 PC の表示部を介して、即ち、図 1 4 に示されるような設定画面の 3 2 0 4、3 2 0 5 等を介してメッセージの設定が行われる。そして、ステップ S 1 8 0 2 においては設定されたメッセージの受信が行われる（入力が行われる）。

【 0 1 0 9 】

次に、ステップ S 1 8 0 3 において、受信したメッセージ情報の設定情報の中に、オートクリア設定がなされているか否かの判断が行われる。

【 0 1 1 0 】

ステップ 1 8 0 3 にてオートクリアの設定が受信したメッセージ情報の中に含まれていると判断された場合には、ステップ 1 8 0 4 にて、掲示板メッセージデータ（メッセージ情報）が入力無効である旨のメッセージを Web クライアント（管理者用 P C）の表示部に表示させるよう制御が行われる。例えば、Web クライアントの利用する端末装置の表示部に「オートクリアが有効になっていない設定が本体になされているので、メッセージは表示されません。」等のメッセージを表示するようにすれば、オートクリアされたタイミングでメッセージを表示させようとした管理者は、自分が設定したメッセージが表示されないことを事前に行うことができる。

【 0 1 1 1 】

そして、ステップ S 1 8 0 5 においては、Web クライアントから送信されてきたメッセージ情報をキャンセル（消去）する処理を行う。

【 0 1 1 2 】

また、ステップ S 1 8 0 3 において、画像処理装置においてオートクリアが有効に設定されていないような場合には、ステップ S 1 8 0 6 において受信したメッセージのハードディスク等の不揮発性記憶手段への保存処理を実行する。

【0113】

このように図18の処理により、オートクリアされたタイミングでメッセージを表示させようとした場合に、不適切な設定であることをメッセージ設定者は事前に知ることができる。即ち、本発明における画像処理装置は外部から、表示されるメッセージ本文の情報及びメッセージを表示するタイミングの設定を受付け、また画像処理装置における所定の設定（例えばオートクリアの無効設定）を記憶する記憶手段とを有し、受付けたメッセージ情報に含まれるタイミング設定情報が、現在記憶手段に記憶されている画像処理装置の設置に対して有効に作用するか否かを判断してユーザに適切な警告を発することができる構成を有するものである。ここで、有効に作用するとは、現在画像形成装置に設定されている設定内容において、Webクライアント等の端末装置から指定されたタイミングでのメッセージに係る処理が実行されるということを意味し、例えば、オートクリアが無効に設定されているにも係らず、メッセージをオートクリアにて表示するようなことは矛盾していることとなる。また、さらなる効果として図18に示された処理では、画像処理装置から所定の通信回線（LAN等）を介して接続された端末装置による遠隔操作に伴う処理なので、メッセージ設定者は遠隔地からメッセージ設定が不適切であることを事前に知ることができる。

【0114】

また、図18の別の形態として、図18に係わる処理を画像処理装置に用じた処理として置き換えることも想定される。即ち、ステップS1802での処理を画像処理装置の操作部（図4の操作部に相当）からのメッセージ情報の設定とすることにより、操作部からメッセージ情報の入力になされたか否かの判断処理とする。またステップS1803の処理は上に説明した処理と同様のものとして、ステップS1804での処理は操作部への警告メッセージの表示処理に置き換えることができる。また、ステップ1806での処理は、前の説明と同様なものとするので詳細な説明は省略する。

【0115】

また、ユーザが指定したメッセージが表示されるタイミングとしてはオートクリアのタイミングに限定されるものではなく、また、画像処理装置の処理もオー

トクリアに係わる処理に限定されるものではない、例えば、画像処理装置本体の表示部、或いは、Webクライアントの利用する端末装置の表示部に表示させるメッセージのタイミグとして、FAX情報を外部から受信したタイミグを図14に示されるような設定画面を介して設定するような形態も想定され、そのような場合に、例えば、FAX受信を禁止するような設定がなされていた場合には、メッセージ設定元の表示部にメッセージ表示が有効に行われたい旨のメッセージを表示するような形態も本発明では想定される。また、例えば、所定の時間にメッセージを表示させるような設定を含んだメッセージ情報をWebクライアントの利用する端末装置から画像処理装置に送信した際に、画像処理装置の設定が指定された所定の時間帯に主電源がOFFされるようなものになっていると画像処理装置に判断された場合には警告メッセージの表示処理などを実行することが考えられる。

【0116】

また、さらなる図18の別の形態として、ユーザが指定するメッセージの設定に合せて画像処理装置の設定を無効から有効に変更するような形態が考えられる。例えば、画像形成装置のオートクリア処理の設定が無効（オートクリアが行なわれない設定）である場合に、外部からのオートクリア時にメッセージを表示するような入力が画像処理装置になされると、メッセージの表示がなされるように画像処理装置の設定を変更するような形態も想定される。そのような場合には、図18におけるS1804の警告処理をメッセージの発信元（画像処理装置本体操作部、或は、LAN等の所定の通信回線を介して接続された端末装置）に対して、「画像処理装置本体のオートクリア設定を無効から有効に変更します」などの警告制御処理に置き換え、また、S1804の処理を設定を無効から有効に変更する処理に置き換えることが想定される。また、オートクリアの設定を無効から有効に変更するような場合には、オートクリアのデフォルト値（例えば図6のステップS609における一定時間を2分間にするような設定）において、オートクリアを有効にするような処理が想定される。また、この時、無効設定から有効設定に変更するような処理はオートクリアに限定されるものではなく、例えば、上に説明したFAXに係わる処理としても想定される。

【0117】

次に、画像処理装置に所定の設定条件でメッセージが保存（記憶）されているような場合に際しての画像処理装置に係わる処理を図 1 9 を用いて説明をする。ここで、図 1 9 のフローチャートに示される各ステップの処理は、装置に設けられた CPU（図の CPU に相当）が不揮発性記憶手段（図の ROM あるいは HDD に相当）に記憶されたプログラムコードを読み込み、該読み込んだプログラムコードに基づく処理を実行することにより実現するものとする。

【 0 1 1 8 】

ステップ S 1 9 0 2 では、外部から所定の処理の設定を無効にするような入力となされたか否かの判定が行われる。例えば、所定の処理を無効にするような設定入力としては、オートクリアを無効にするような入力、FAX の受信を無効にするような入力などが想定される。そして、判定が No であれば待機処理を行い、判定が Yes であればステップ S 1 9 0 3 に処理を移行する。また、ステップ S 1 9 0 2 における外部からの所定の設定を無効にするような入力としては、外部装置とは、画像処理装置本体の操作部の操作指示に応じた入力、或は、画像処理装置と LAN 等の所定の通信回線を介して接続された情報処理装置（Web クライアントの利用する端末装置）から送信されてくる設定情報の入力などが想定される。

【 0 1 1 9 】

ステップ S 1 9 0 3 においては、上に説明した画像処理装置の HDD 等に記憶されているメッセージに所定のタイミングで表示されるような情報が含まれているか否かが判定される。例えば、HDD にオートクリア時にメッセージが表示されるような情報が含まれているような場合には、ステップ S 1 9 0 3 の判定処理の結果は Yes となる。

【 0 1 2 0 】

ステップ S 1 9 0 3 にて Yes と判断された場合にはステップ S 1 9 0 4 にて警告メッセージの表示処理が画像処理装置によって実行される。さらにはメッセージの表示処理は、ステップ S 1 9 0 2 の設定の操作元が例えば画像処理装置本の操作部からなされた場合には、操作部への警告メッセージ表示処理に対応し、設定の操作元が画像処理装置本体とは LAN 等の所定の通信回線を介して外部に接続

された端末装置であるような場合には、外部の端末装置への警告メッセージ表示処理に対応する。ここで、警告メッセージとしては例えば、「メッセージの表示が無効になりますよろしいでしょうか？」などの警告メッセージが想定される。

【0121】

そして、ステップS1905にて、例えば、警告に対して了解した場合（所定の処理の設定を無効にする場合にメッセージの表示が無効になる旨を了解した場合）には、ステップS1907の処理に移行し所定の設定が無効になる処理が施される。例えば設定が無効になるようなものとしては、上に説明したようなオートクリアが無効になるようなものが挙げられる。無論オートクリアに限定されるものではない。

【0122】

一方、ステップS1903の処理において判定がNoであった場合には、ステップS1907に処理が移行し、画像処理装置における所定の設定（処理）が無効にされる処理が施され、処理を終了する。即ち、画像形成装置における所定の処理の設定を無効にしても、メッセージの表示の設定に影響が及ばないものと画像処理装置によって判定されることを意味する。

【0123】

このように図19に示されたような画像処理装置の処理により、ユーザが画像処理装置の所定の処理の設定（例えばオートクリア設定の無効）を無効に設定指示したために画像処理装置本体に既に格納され設定されたメッセージが表示されないような事態を未然に防ぐことが可能となる。

【0124】

（他の実施形態）

なお、本発明は、複数の機器（例えばホストコンピュータ、インタフェイス機器、リーダ、プリンタなど）から構成されるシステムに適用しても、一つの機器からなる装置（例えば、複写機、ファクシミリ装置など）に適用してもよい。

【0125】

また、本発明の目的は、前述した実施形態の機能を実現する、各フローチャー

トの手順のソフトウェアのプログラムコードを、実行主体に応じてデバイスモジュール、ユーザモジュール、サービスモジュールごとにそれぞれ記録した記憶媒体（または記録媒体）を、実行主体であるデバイスやパーソナルコンピュータにそれぞれ供給し、それら（またはCPUやMPU）が記憶媒体に格納されたプログラムコードを読み出し実行することによっても達成される。

【 0 1 2 6 】

この場合、記憶媒体から読み出されたプログラムコード自体が前述した実施形態の機能を実現することになり、そのプログラムコードを記憶した記憶媒体、或いは、プログラム自体が本発明を構成することになる。

【 0 1 2 7 】

また、コンピュータが読み出したプログラムコードを実行することにより、前述した実施形態の機能が実現されるだけでなく、そのプログラムコードの指示に基づき、コンピュータ上で稼働しているオペレーティングシステム(OS)などが実際の処理の一部または全部を行い、その処理によって前述した実施形態の機能が実現される場合も含まれる。

【 0 1 2 8 】

さらに、記憶媒体から読み出されたプログラムコードが、コンピュータに挿入された機能拡張カードやコンピュータに接続された機能拡張ユニットに備わるメモリに書込まれた後、そのプログラムコードの指示に基づき、その機能拡張カードや機能拡張ユニットに備わるCPUなどが実際の処理の一部または全部を行い、その処理によって前述した実施形態の機能が実現される場合も含まれる。

【 0 1 2 9 】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明によれば、ユーザに所望の情報を効果的かつ効率的に伝達／通知することができる。また、その際に管理者の負荷を軽減することもできる。

【 0 1 3 0 】

また、機器管理者は、印刷装置の表示装置の異なる表示領域の中から、所望の表示領域にメッセージを表示することができ、表示領域を使い分ける等のより柔

軟なユーザへのメッセージの提供を行うことができる。

【 0 1 3 1 】

またさらに、表示装置の異なる表示領域ごとに異なるタイミング、情報量でメッセージを表示できるために、より効果的かつ効率的なメッセージの表示を行うことができる。

【 0 1 3 2 】

また、機器管理者はメッセージを消去可能か否かを選択し表示できるため、緊急度、重要度に応じたメッセージの表示を行うことができる。さらに、メッセージの表示と共に印刷装置の操作画面を表示しないようにして、使用制限をかけることもできる。

【 0 1 3 3 】

また、印刷装置の外部に接続された Web クライアントはわざわざ画像処理装置の有る場所まで行かなくとも、自分が所有するパーソナルコンピュータ等の画面を介して、機器管理者からのメッセージを確認することができるので、ユーザにとっても作業の効率化が図れる等の効果がある。

【 0 1 3 4 】

さらに、画像処理装置に設けられた表示部、或いは、Web クライアントの利用する端末装置の表示部に表示されるメッセージを画像処理装置に設定しようとする際に、該メッセージの、例えば、表示タイミング（例えばオートクリア時に表示）の設定が、画像処理装置になされている設定（例えばオートクリアの無効設定）から不適当であった場合にもメッセージの設定者（管理者）はその旨を事前にすることができる。

【 0 1 3 5 】

さらに、画像処理装置になされている設定を、メッセージを表示するために適した設定に自動手／半自動的に変更するような仕組みを提供しているので、メッセージの提供者（管理者）はスムーズなメッセージ設定処理を行うことが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

画像処理装置（印刷装置）の一例を示すブロック図。

【図 2】

システム全体の構成を示す図。

【図 3】

本システムのソフトウェアの全体構成図。

【図 4】

操作部全体図の一例。

【図 5】

操作部に表示される画面の一例。

【図 6】

表示装置の画面へのメッセージの表示の一連の処理を示すフローチャート。

【図 7】

表示装置の画面にメッセージが表示されている一例。

【図 8】

表示装置の画面にメッセージが表示されている一例。

【図 9】

表示装置の画面にメッセージが表示されている一例。

【図 1 0】

表示装置の画面へのメッセージの表示の処理を示すフローチャート。

【図 1 1】

表示装置の画面へのメッセージの表示の処理を示すフローチャート。

【図 1 2】

画像処理装置（印刷装置）の電源起動時のメッセージ表示処理を示すフローチャート。

【図 1 3】

Web クライアントのシステム管理設定画面の一例。

【図 1 4】

Web クライアント（装置管理者）のシステム管理設定の編集画面の一例。

【図 1 5】

Webクライアントのトップページ画面の一例。

【図 1 6】

画像処理装置の外部からのファイル要求に係わる処理を示すフローチャート。

【図 1 7】

画像処理装置のメッセージ表示に係わる処理を示すフローチャート。

【図 1 8】

画像処理装置のメッセージ表示に係わる処理を示すフローチャート。

【図 1 9】

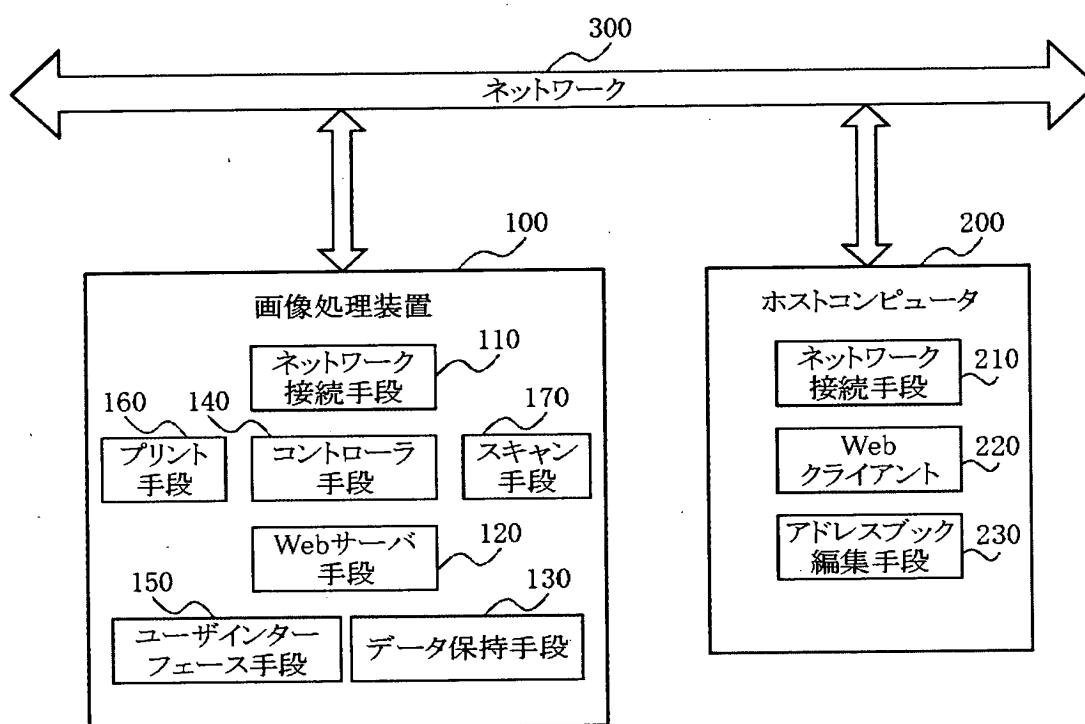
画像処理装置への設定情報の入力に伴う画像処理装置の処理を示すフローチャート。

【図 2 0】

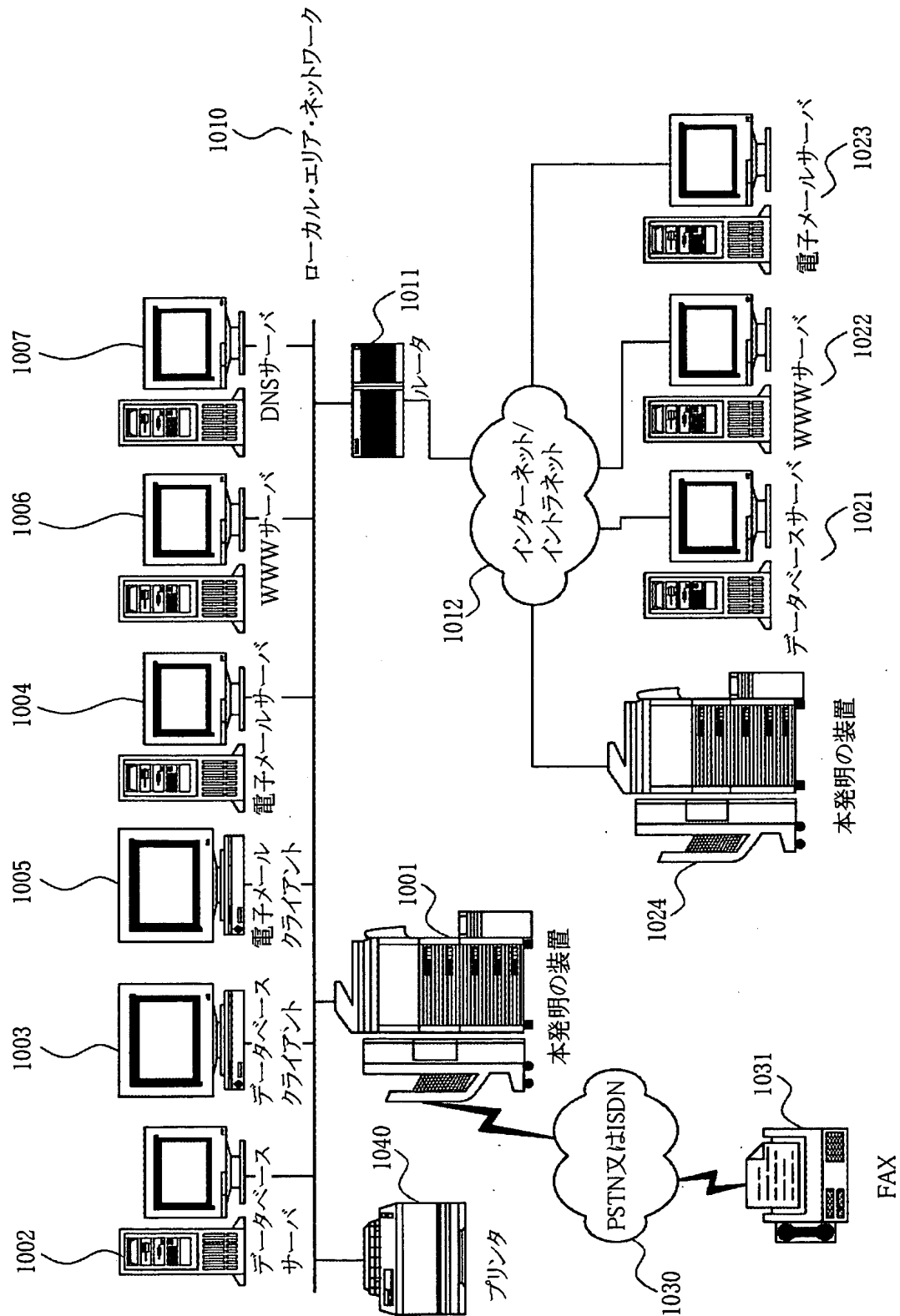
情報処理装置の代表的な内部構成図。

【書類名】 図面

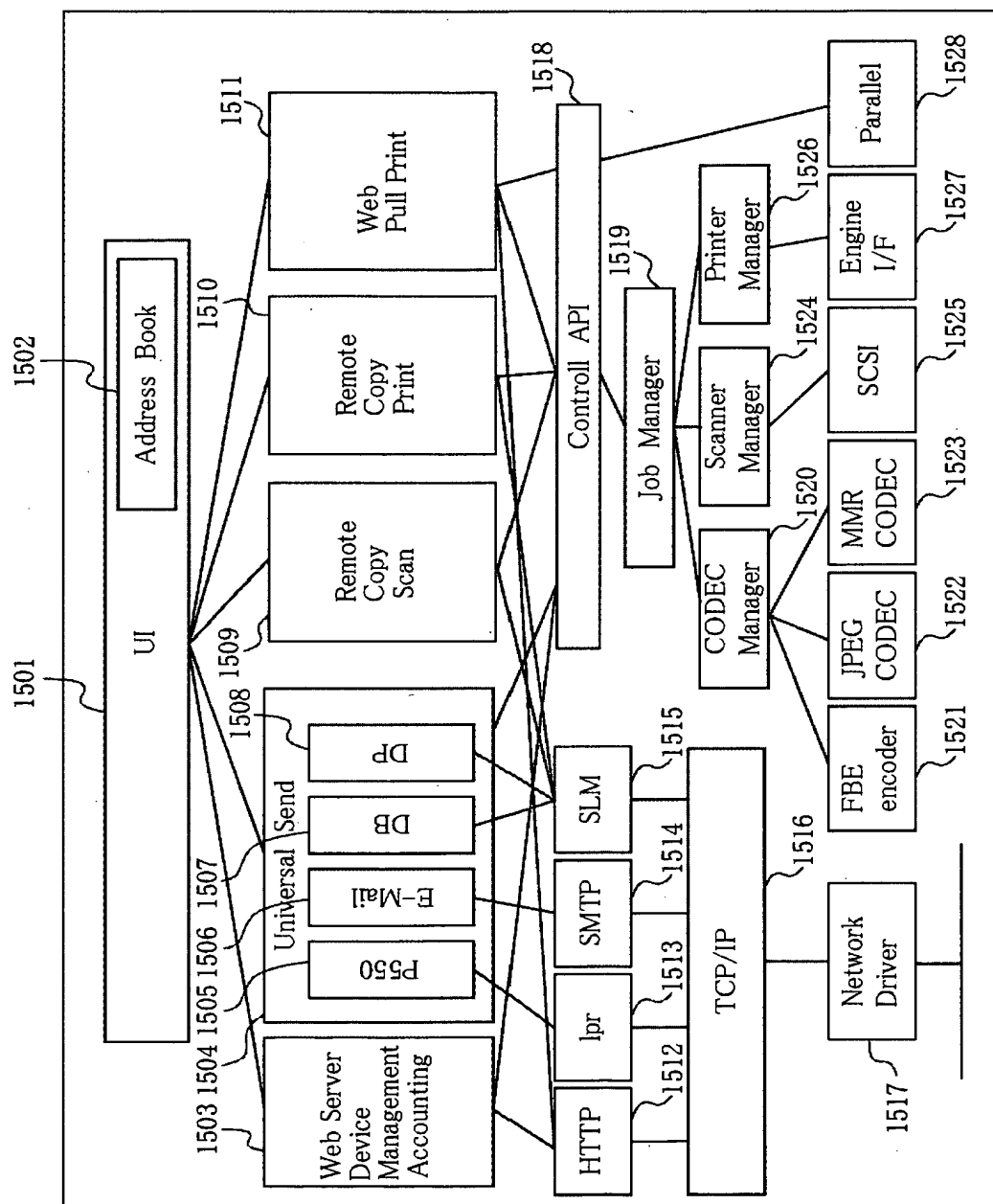
【図 1】



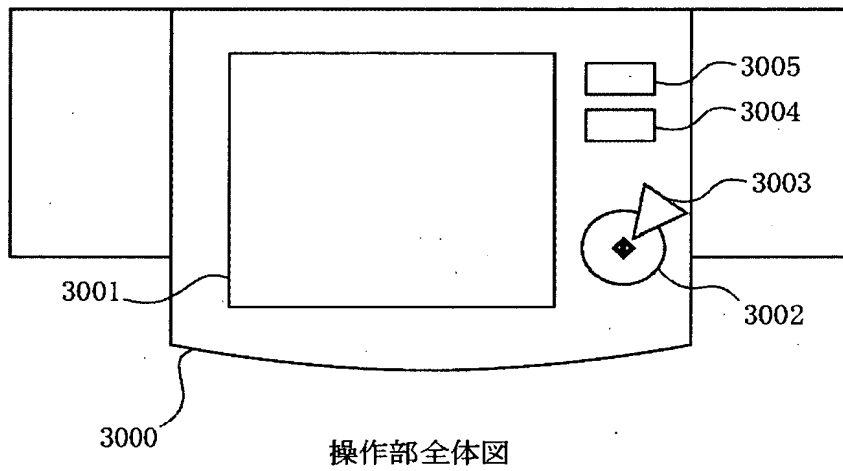
【図 2】



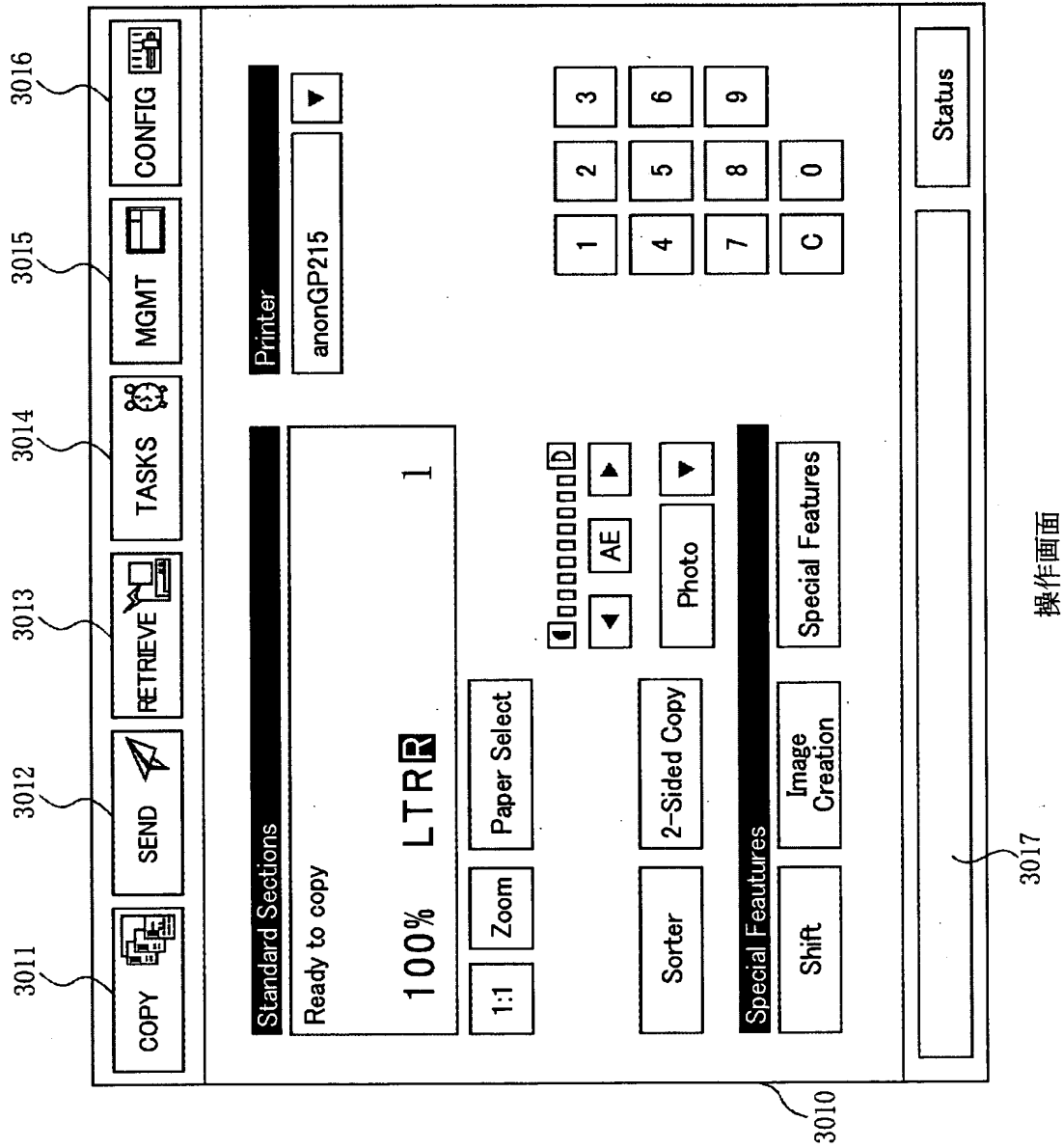
【図 3】



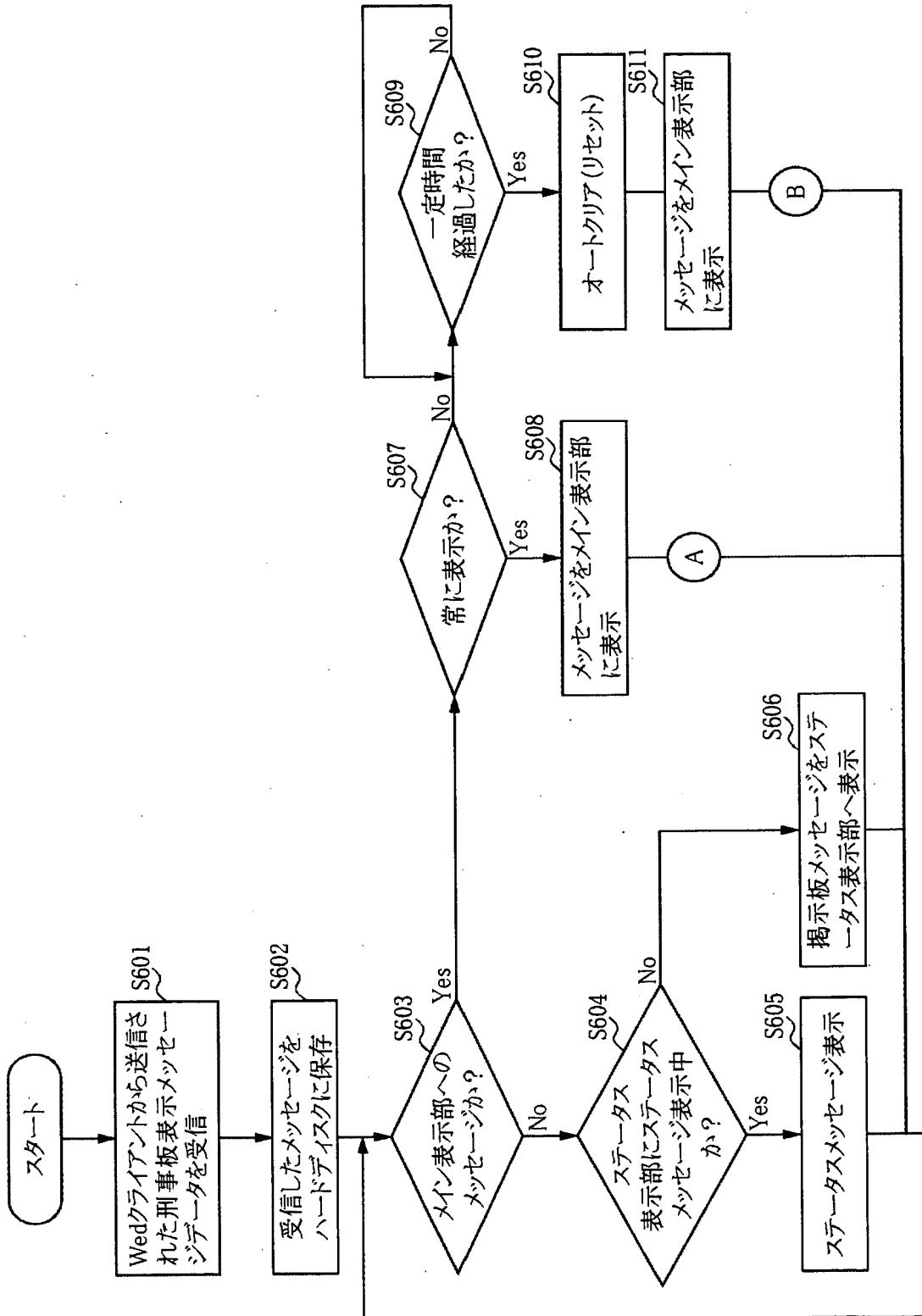
【図 4】



【図 5】



【図 6】



【図 7】

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|--|--|--|--|------|--|--|--|--|----------|--|--|--|--|-------|--|--|--|--|------|--|--|--|--|--------|--|--|--|--|-----|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| COPY | | | | | SEND | | | | | RETRIEVE | | | | | TASKS | | | | | MGMT | | | | | CONFIG | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| コピーできます 100% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 縮小 | | | | | | | | | | 等倍 | | | | | | | | | | 拡大 | | | | | | | | | | ズーム | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ドラフト印刷の時はトナー節約モードで、 メッセージ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | Status | | | | | | | | | |

【図 8】

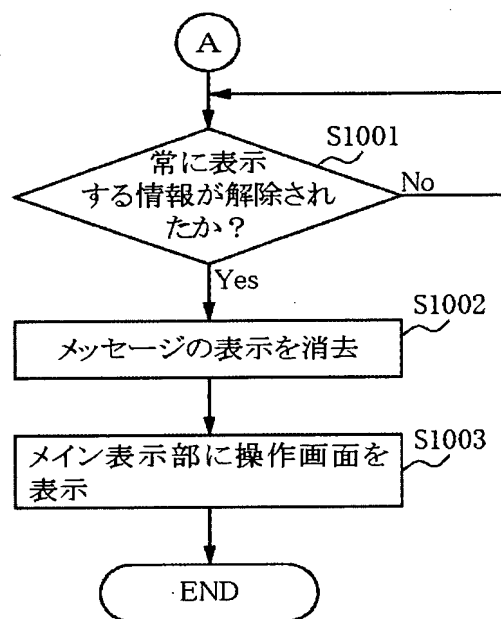
| | |
|---|--------|
| <p>以下の通りコピーメンテナンスを行います</p> <p>2XXX年X月X日</p> <p>XX:XX分~△△:△△分</p> <p>この期間はコピーは使えません。御了承ください。</p> <p>OK</p> | |
| トナー切れ | Status |

メッセージ

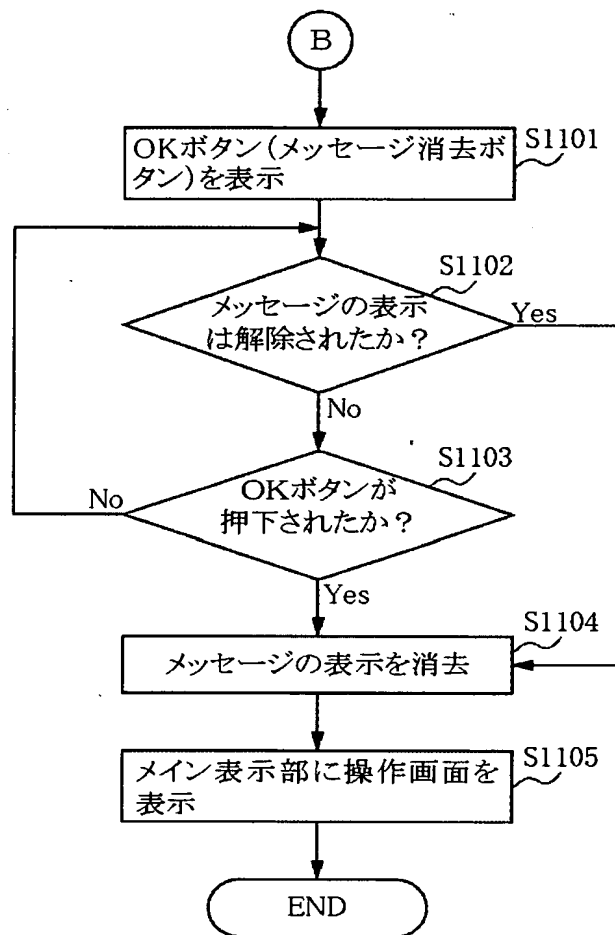
【図9】

| | |
|---|----------------------------|
| <p>以下の通りコピーメンテナンスを行います</p> <p>2XXX年X月X日</p> <p>XX:XX分～△△:△△分</p> <p>この期間はコピーは使えません。御了承ください。</p> | <p>トナー切れ</p> <p>Status</p> |
|---|----------------------------|

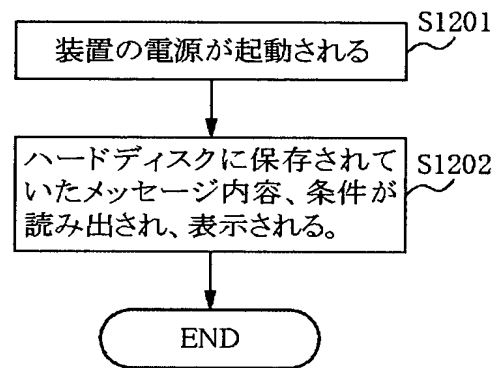
【図 10】



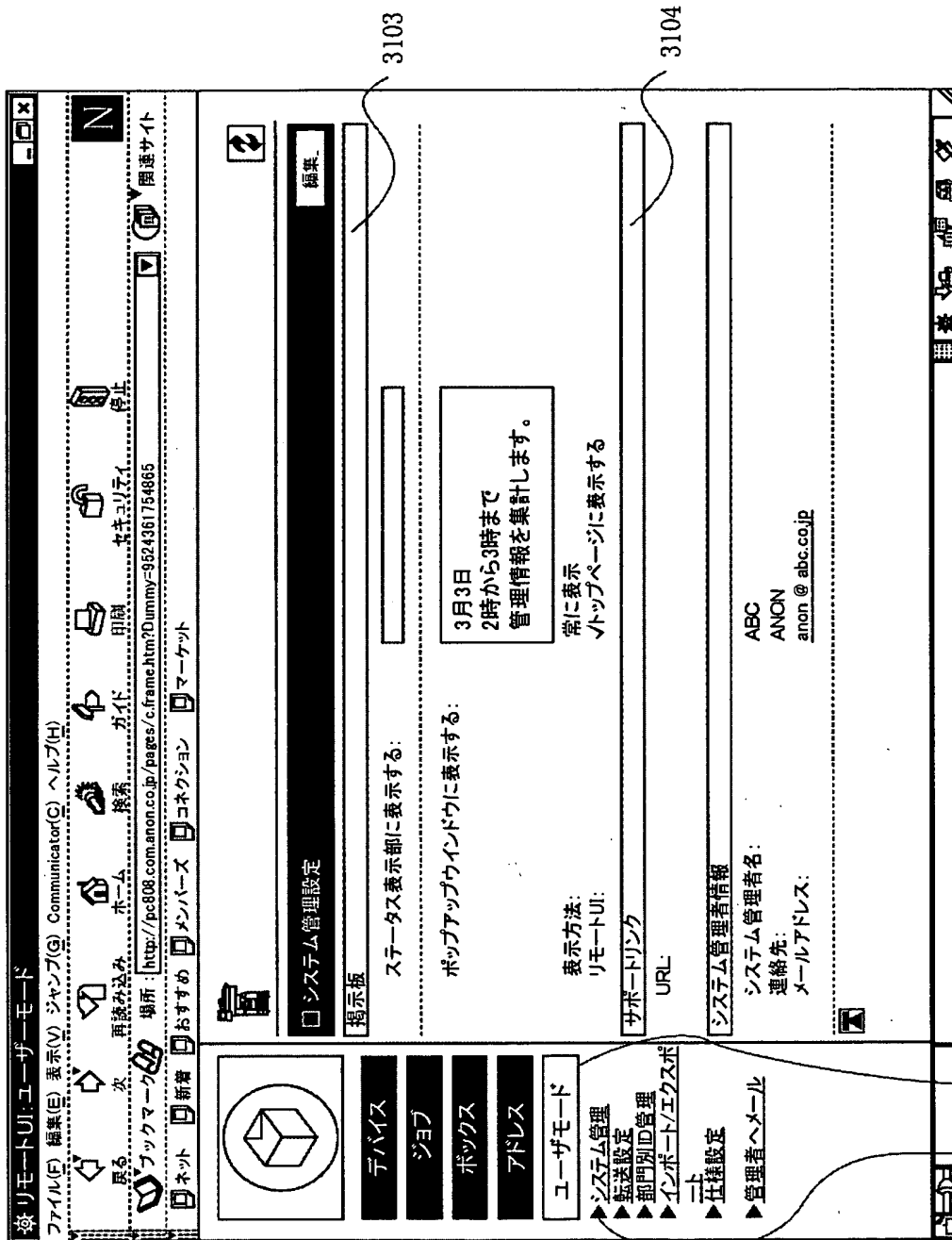
【図 11】



【図 12】



【図 13】



Webクライアントのシステム管理画面

3102 3101

【図 14】

リモートUI: ユーザーモード

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ジャンプ(J) Communicator(C) ヘルプ(H)

戻る 次 再読み込み ホーム 検索 ガイド 印刷 セキュリティ 停止

ブックマーク 場所: http://pc808.com.anon.co.jp/Pages/c.frame.htm?Dummy=952430505980

インターネット 新着 おすすめ メンバーズ コネクション マーケット

システム管理設定の編集

システム管理設定を行います。

OK キャンセル

IDと暗証番号の登録

掲示板

ステータス表示部:

ポップアップアップウィンドウ

3月3日

2時から3時まで

管理情報を集計します。

表示方法:

常に表示

オートクリア時に表示

トップページに表示する

リモートUI:

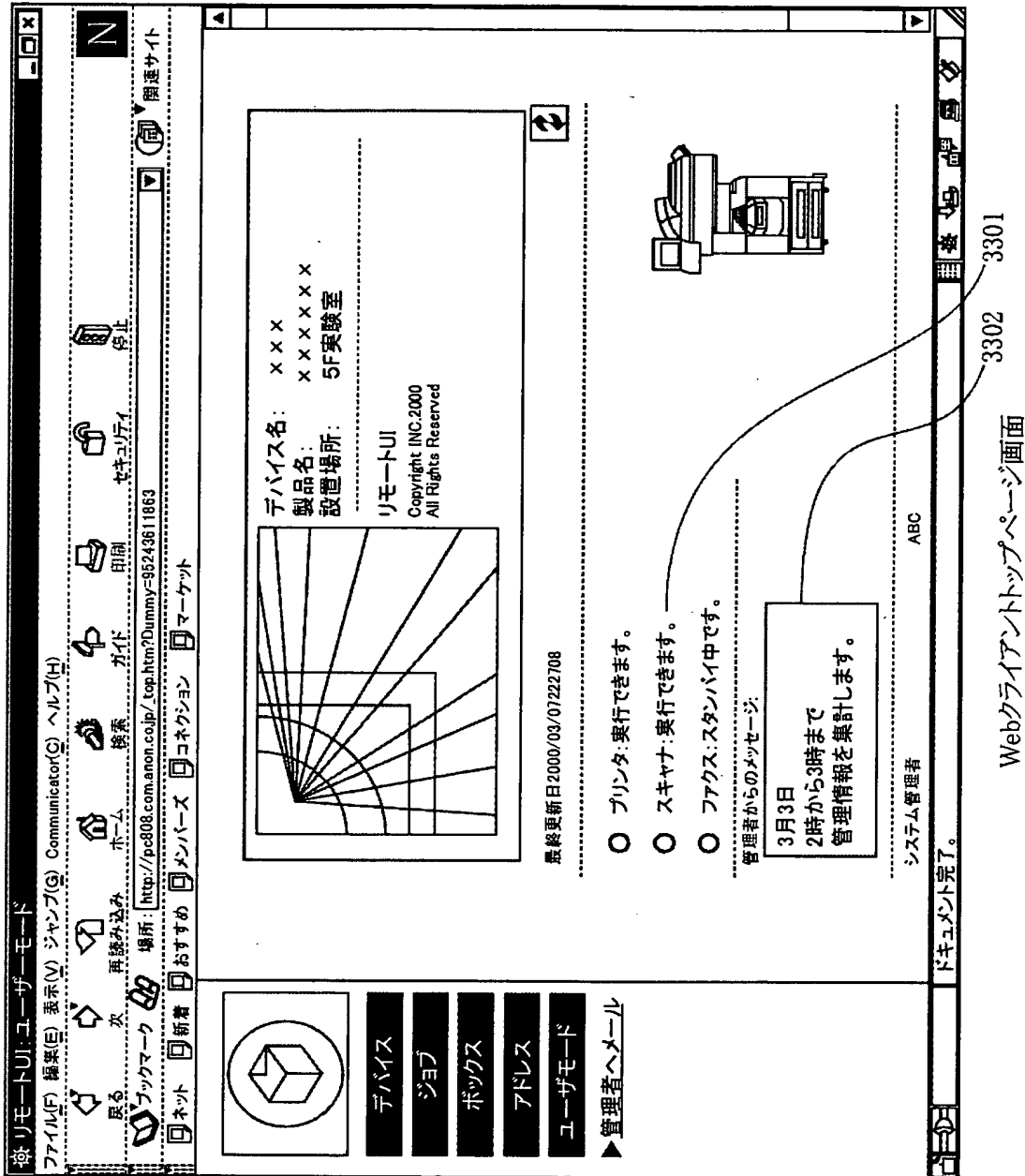
サポートリンク

URL:

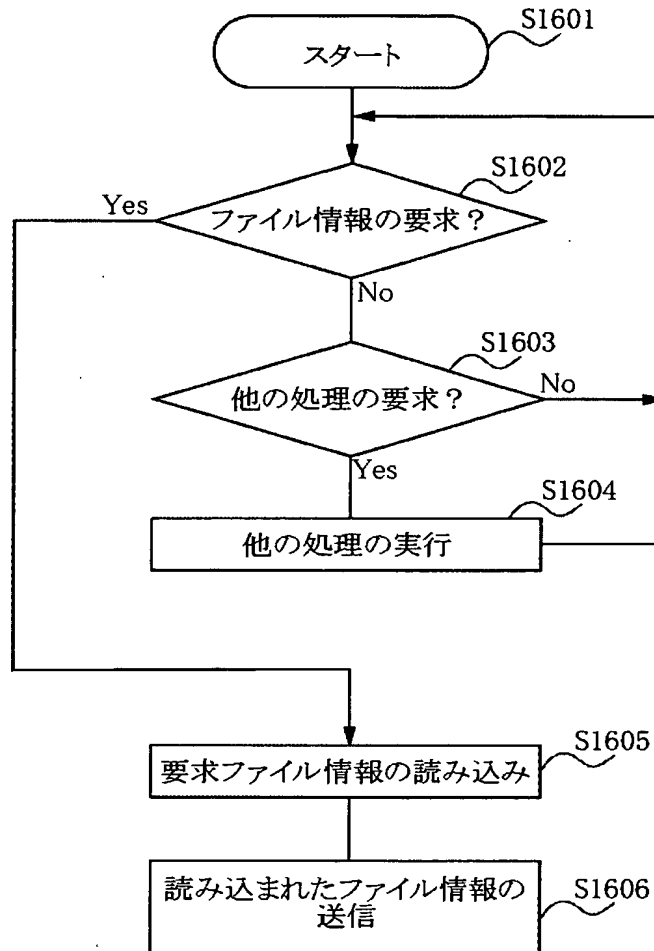
ドキュメント完了。

Webクライアントシステム管理設定の編集画面

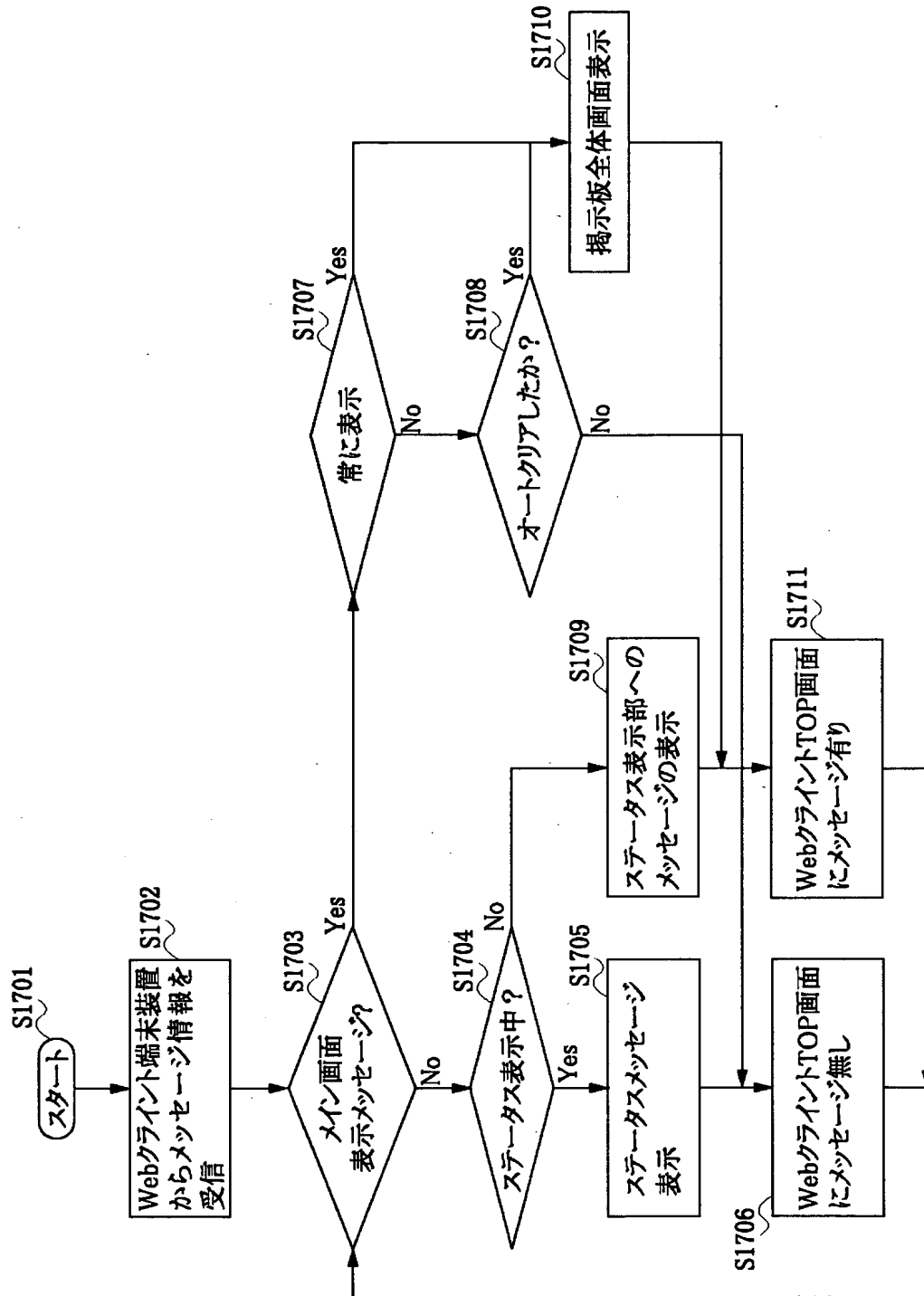
【図 15】



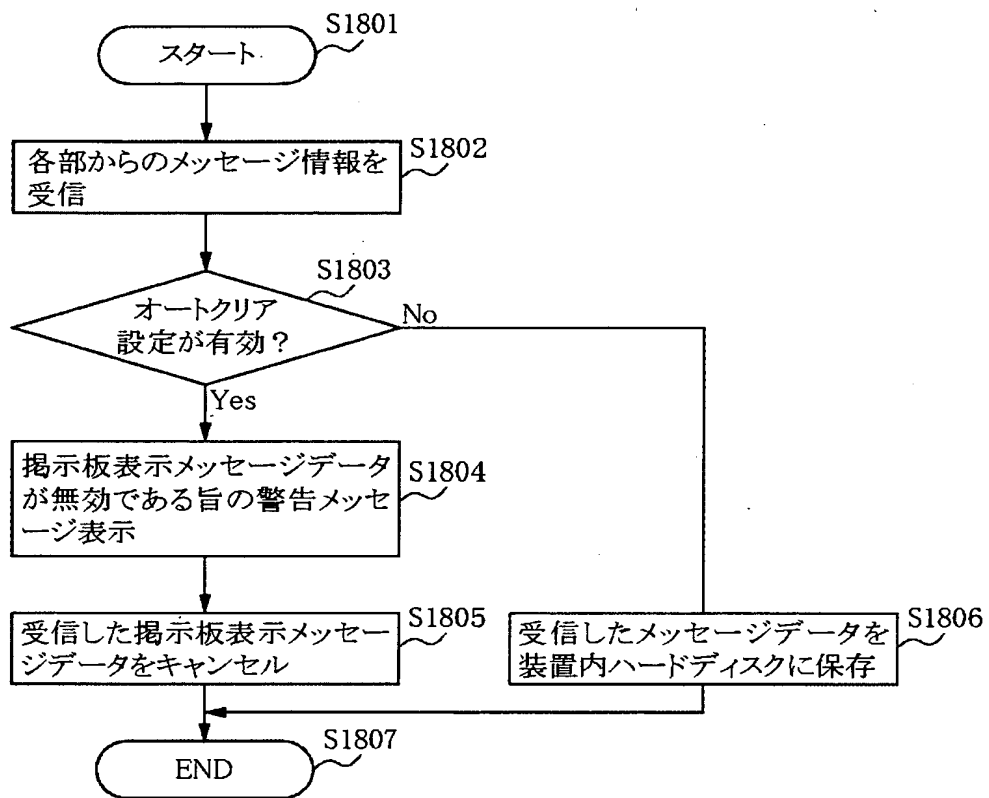
【図 1 6】



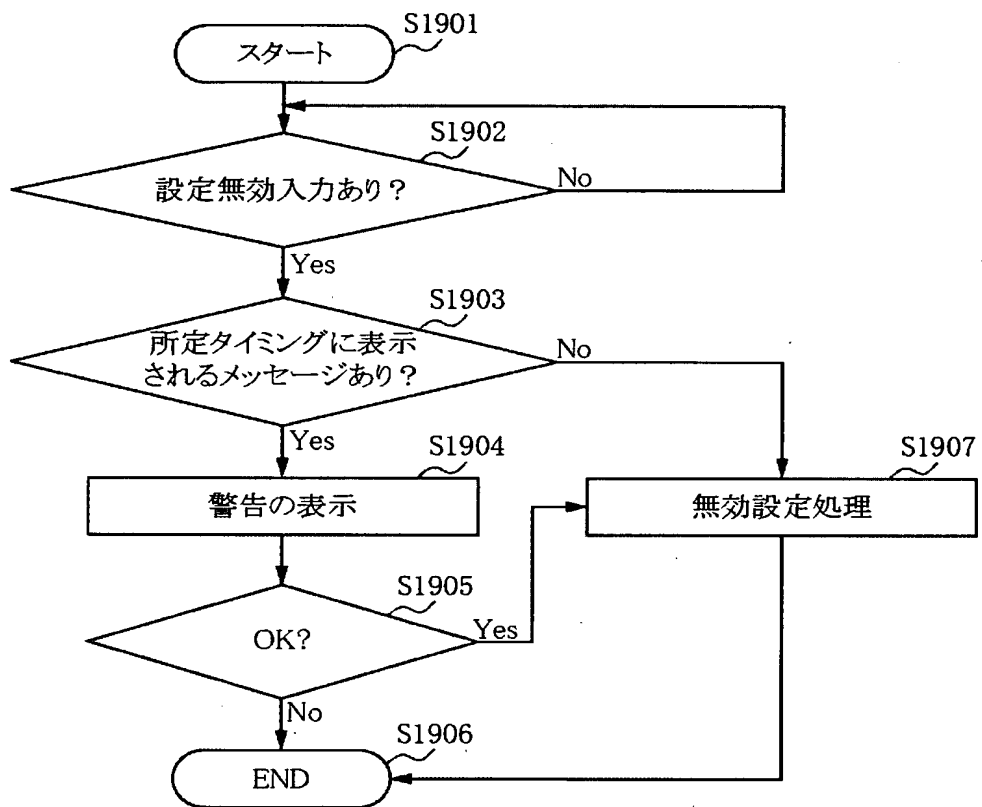
【図 17】



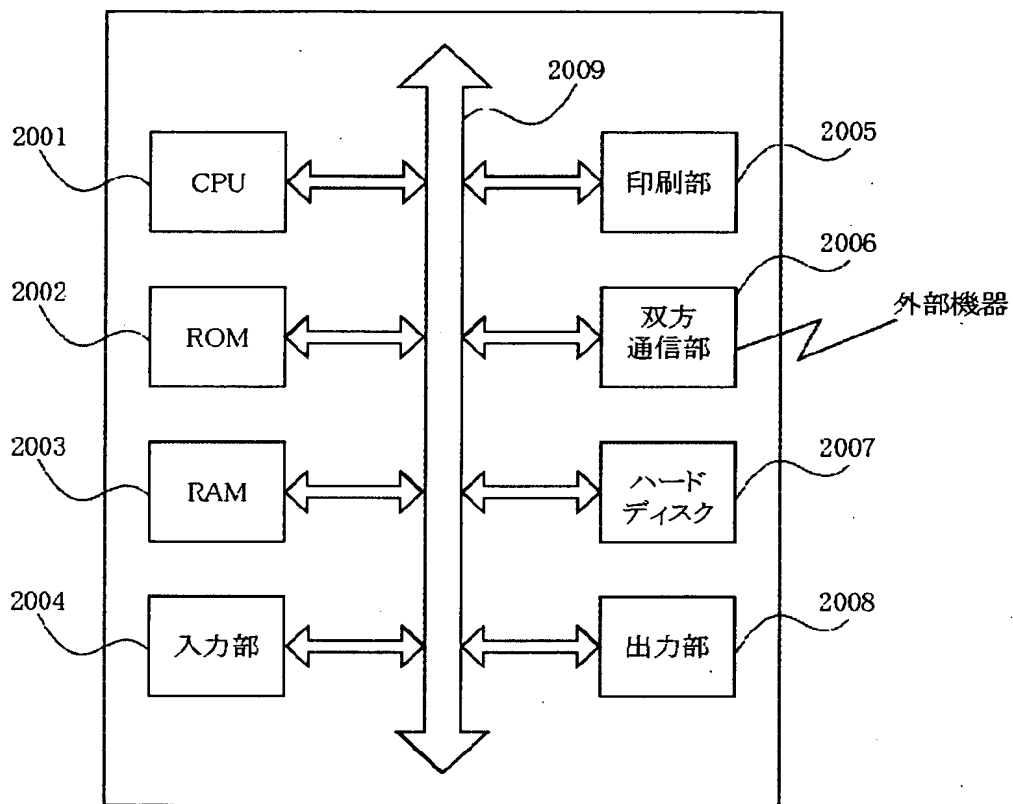
【図 18】



【図 1 9】



【図 20】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 表示されるメッセージを設定する仕組みであり、任意のメッセージを設定できると共にメッセージの表示タイミングなども設定することができる、さらに、メッセージの設定に伴うトラブルを未然に防ぐ事ができる。

【解決手段】 表示されるメッセージ本文の設定と、前記メッセージを表示するタイミングの設定と、を受け付ける受付手段と、前記画像処理装置における所定の処理の設定を記憶する記憶手段と、前記受付手段によって受け付けたタイミングの設定が、前記記憶手段に記憶された所定の処理についての設定と比較して有効か否かを判断する判断手段と、前記判断手段により有効でないと判断された場合には、前記メッセージの表示するタイミングの設定が有効でないことに対応して行われる所定の処理を行う手段とを有することを特徴とする。

【選択図】 図 1 8

認定・付加情報

| | |
|---------|---------------|
| 特許出願の番号 | 特願2001-153866 |
| 受付番号 | 50100740788 |
| 書類名 | 特許願 |
| 担当官 | 第八担当上席 0097 |
| 作成日 | 平成13年 5月28日 |

<認定情報・付加情報>

【特許出願人】

| | |
|----------|-------------------|
| 【識別番号】 | 000001007 |
| 【住所又は居所】 | 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 |
| 【氏名又は名称】 | キャノン株式会社 |

【代理人】

申請人

| | |
|----------|-----------------------------|
| 【識別番号】 | 100090538 |
| 【住所又は居所】 | 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キャノン株式会社内 |
| 【氏名又は名称】 | 西山 恵三 |

【選任した代理人】

| | |
|----------|-----------------------------|
| 【識別番号】 | 100096965 |
| 【住所又は居所】 | 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キャノン株式会社内 |
| 【氏名又は名称】 | 内尾 裕一 |

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000001007]

1. 変更年月日 1990年 8月30日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都大田区下丸子3丁目30番2号

氏 名 キヤノン株式会社